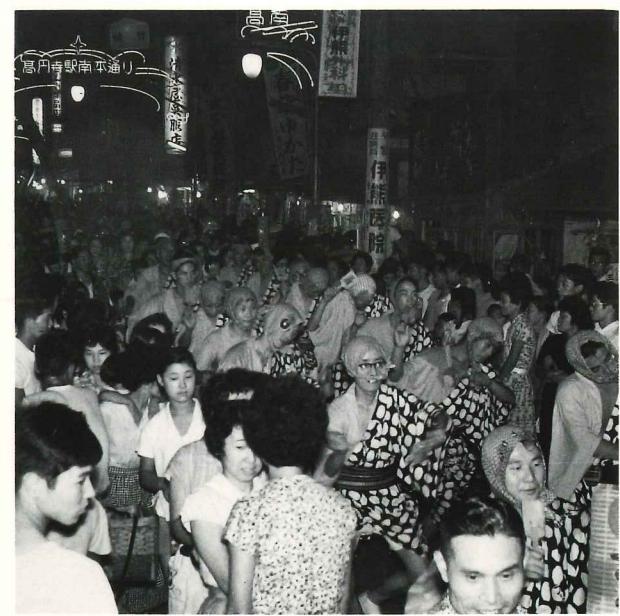


# 高円寺阿波おどり

新喫茶 山の

高円寺阿波おどり二十周年記念誌



草創期の「高円寺阿波おどり」



▲第30回（昭和61年）ポスター

高円寺阿波踊振興協会  
会長 小沢 淳男

早いもので、高円寺阿波おどりも30年たちました。当初は何がなにやらサッパリわからぬ手さぐりの踊り・鳴り物もどうにか「西の徳島・東の高円寺」といわれるほどに成長しました。これもすべて御理解ある企業・団体・個人の皆様の御協力のたまものです。この30年を一つの節として、記念誌を上梓する運びとなりました。なつかしい顔・顔・顔の連続で、走馬燈を見る思いです。また先輩として御指導くださった徳島県阿波踊協会の皆様がお祝いとして高円寺に出演してくださいました。まさに錦上花を添える、こんなに嬉しい事はありません。百万人ののぼる大勢の観客の皆様に愛されて30年、感謝の念で一杯です。どうか引き続き一層の御支援をお願いいたとともに今後の発展を期したいと思います。



撮影／名取達也



撮影／岩田 優



撮影／ふじまき一彦



撮影／菊地正金



撮影／堀田いと

卷頭写真集

連紹介

海外遠征

いらすとちぎ

ぶらり更跡めぐり

三十年のあゆみ

高円寺での阿呆な調査のてん末

徳島に学ぶ

わが高円寺阿波おどり（座談会）

舞台をつくる

声

思い出のアルバム

役員分担表・実行委員会編成表

ボスター類今昔

表紙題字……山田桃源

写真撮影者名入りは写真コンテスト応募作品  
メッセージ（敬称略・掲載順）

上條恒彦 森本レオ 大沢 誉志幸 藤島親方

近藤伸明 速見 領 三林京子

鈴木都知事

熊谷貞寛 松田杉並区長



撮影／鈴木信太郎



撮影／菊地五郎



撮影／牧田恒己

撮影／石出政幸



撮影／浦島 紘



撮影／阿部正克



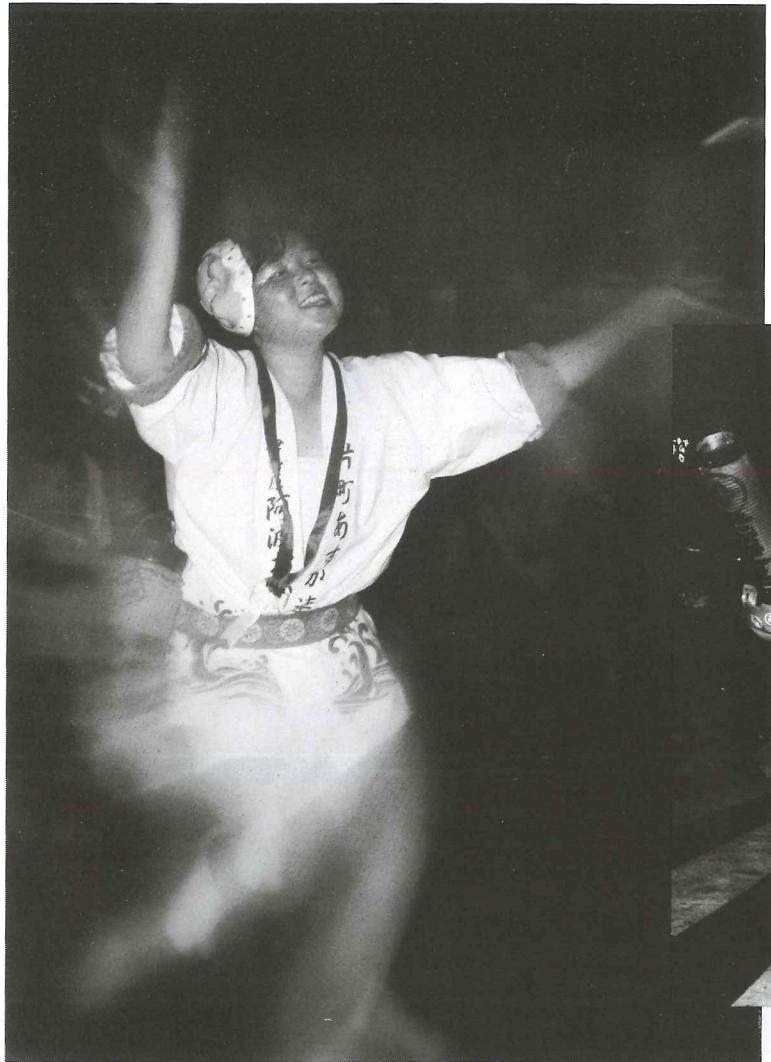
撮影／大石久雄



撮影／寺 賢昭



撮影／岩田 優



撮影／広瀬友久



撮影／鈴木藤樹

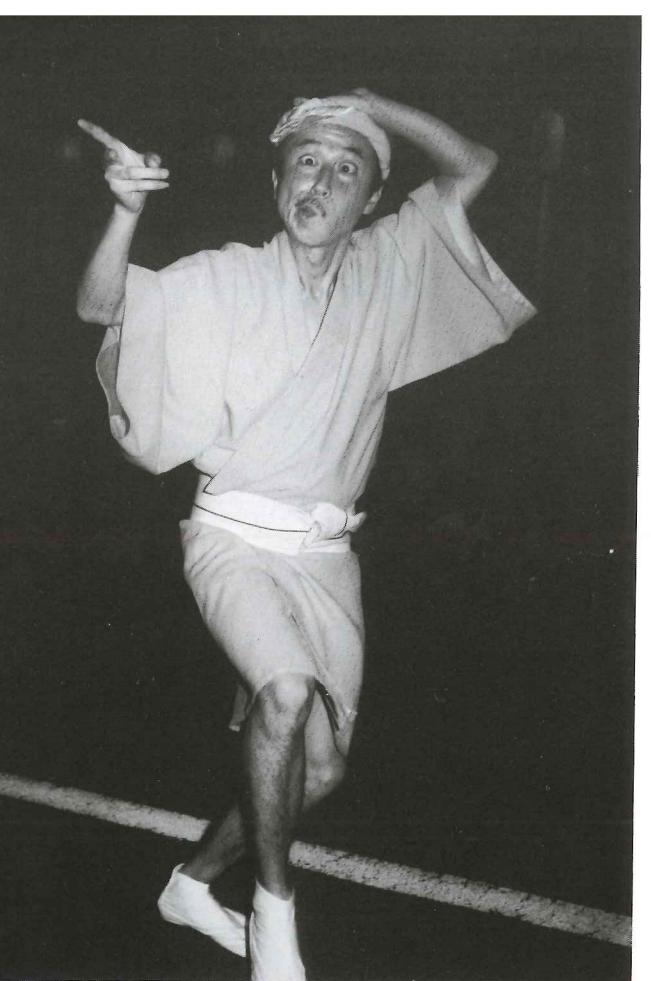
撮影／山宮 博

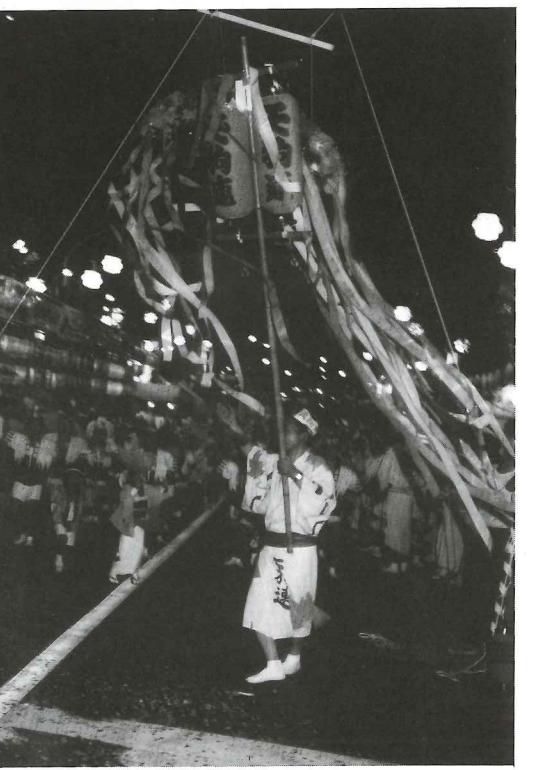
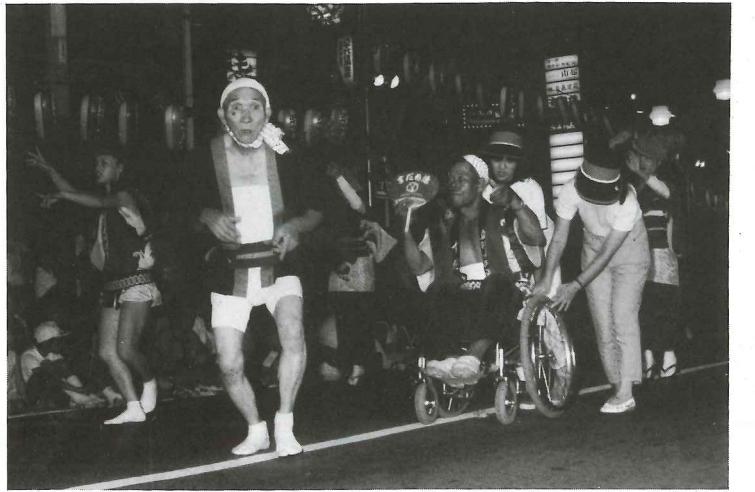
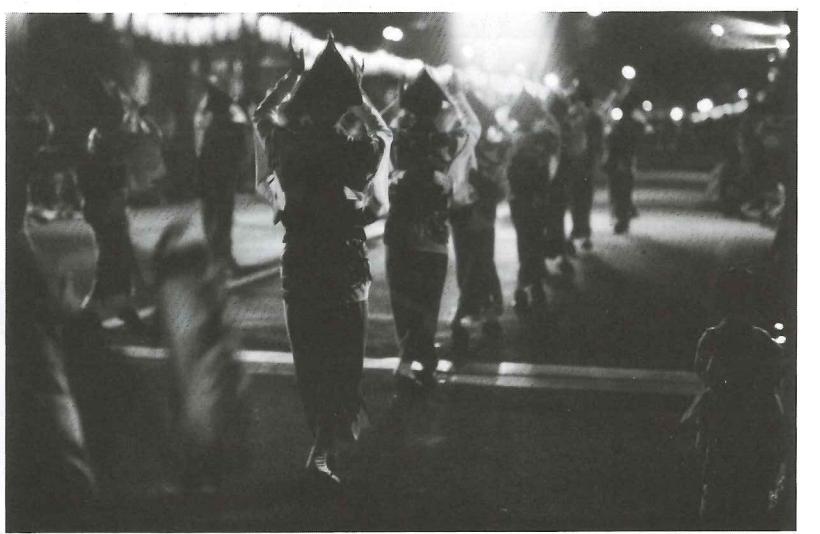


撮影／渡辺幸子

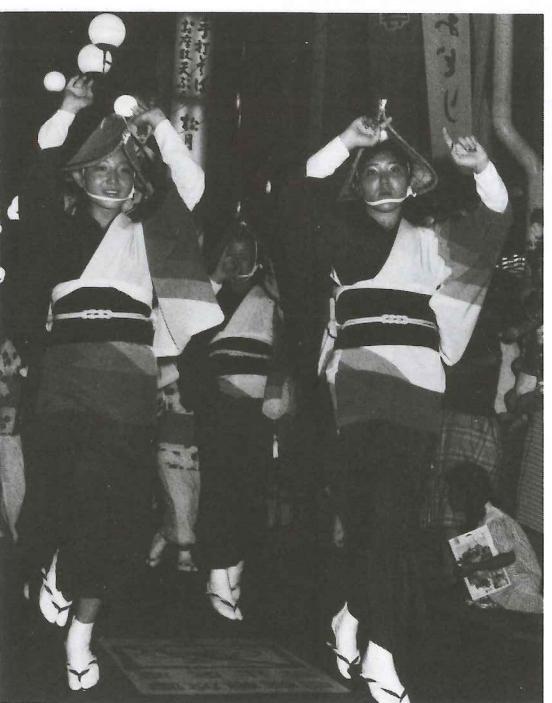


撮影／小黒恭代





撮影／村田恵三郎



# 連

高円寺を鮮やかに彩る  
「連」の登場！

高円寺阿波おどり連協会所属の  
17連を先頭に、第29回（昭和60年）  
に参加した銀行連、地元連、外部  
連が繰り出します。

各連の皆様が、踊り出す手にペ  
ンを持ち、それぞれの持ち味をい  
かしての自己紹介。さて、いかが  
なりますやら！

# 組

# 公

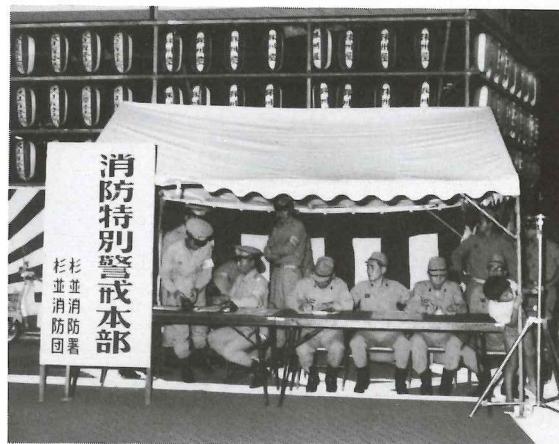
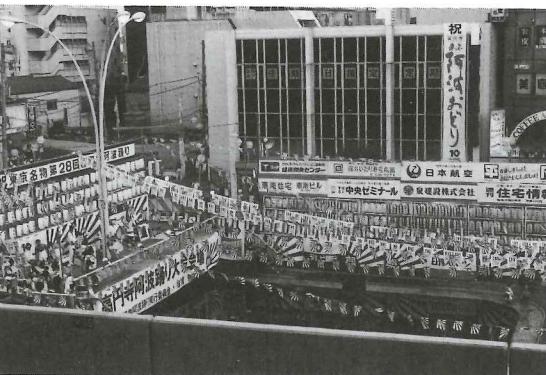


電 話 住 所 創 立 連 長 連 員 数  
百三十名 昭和四十一年八月三十一日 森田昇榮  
杉並区高円寺南四一六一二 一一四五七〇

# 葵新連



**清潔、純情、愛される連**  
葵新連は素直な連、清潔で純情な連、好  
まれ愛される連、そして心を謙虚に持つ事  
にしています。上手、下手ではないのです。  
けれども、踊りは自負するものがあります。  
多くは申しません。本番をご覧下さい。



本部席(左から)小沢会長、松田杉並区長、  
鈴木都知事、根津名誉会長



一緒に踊る(左から)藤原都議、鈴木都知事、小沢会長、草柳氏、増田都議

ハワイにて(右から)草柳勝治、斎藤信雄、吉田善明、  
渡辺一郎、中島安雄、鈴木勇一、小俣区民部長の各氏



Gaijin-San Go Dancing in

## 江戸浮連

踊りの原点を多くの人に

江戸浮連は、高円寺阿波踊り発足当時の“うずまき連”の伝統を引く歴史のある連です。歴代の連長は三十年前、高円寺阿波踊りの創立に直接携わり、また顔を白く塗り、踊りにおはやしに活躍しました。当時は商店街の子弟、従業員で組織していた連も、昭和四十六年“江戸浮連”発足と同時に一般の踊り子の募集を始めました。

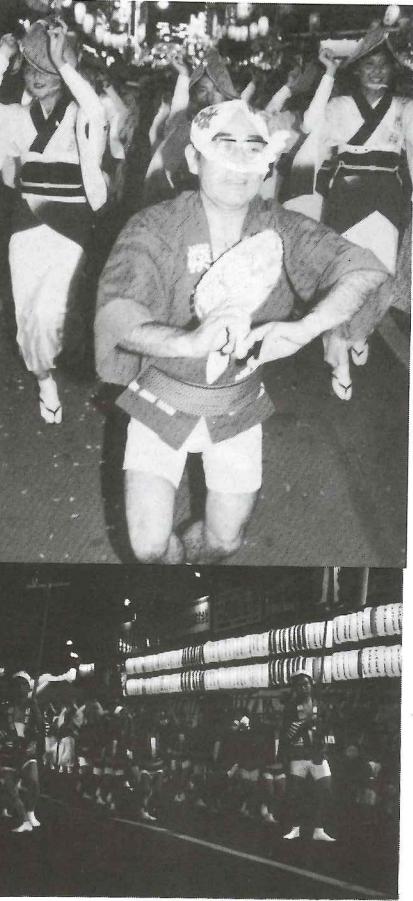
踊りたい人は誰でも歓迎し、その数も年々増加しています。阿波踊りの原点「同じ阿呆なら踊らにや損々」の精神を多くの人たちに味わってもらいたいと思います。

連長 河原廣一・上原昭弘・中屋国臣  
(中略) 新井健、総連長・小沢淳男  
創立 昭和四十六年  
連員数 百二十名  
住所 杉並区高円寺南三一五八一七  
電話 三一一八〇六一

自由で美しい踊りを目指して  
飛鳥とは、我が國創成期「飛鳥」の京明日香」の枕言葉の飛鳥「あすか」から、日本人の琴線を大切にという意を込めて明日に香れと名付けました。  
徳島娘茶平の姉妹連としていつも一生懸命、自由で美しい踊りを目指し、結成以来

精進を重ねて来ました。踊りによって無窮の空間に自己を描き、踊りとの対話により自らの内面を見詰め、豊かな人間性の形成を目標としています。

高円寺阿波踊り第一期生の幹部が高円寺の心を語り、次代を担う若手が未来に夢を馳せる、飛鳥連はそんな阿波踊り大好き人間の集りです。



## 飛鳥連

連長 関根敏邦  
創立 昭和四十五年十月  
連員数 百十七名  
住所 杉並区高円寺南四一二五二  
電話 三一一三〇〇九

## 連紹介



## 江戸子連

連長 佐藤恒夫・早川弘・草柳忠弘  
創立 昭和四十六年八月  
連員数 六十名  
住所 杉並区高円寺北二一六一三  
電話 三三七一四一三三



粹でサッパリ江戸っ子気質

高円寺銀座商店会で組織した「高円寺銀座連」が発展的解散をして、昭和四十六年に「江戸っ子連」が誕生した。粹でサッパリ、義理人情に厚い江戸っ子の良さを身上に“心と汗”的正調阿波おどりを目指している。徳島・阿呆連の指導をうけ、提灯をあやつるダイナミックな武土おどりは当然ながらではのもの。

昭和五十三年最優秀賞を受賞、昭和五十五年連結十周年の記念公演を開催、この年第一回の都知事杯を獲得する。ユカタにあしらった紋は東京都のマーク“花”的サクラと“木”的イチヨウ。



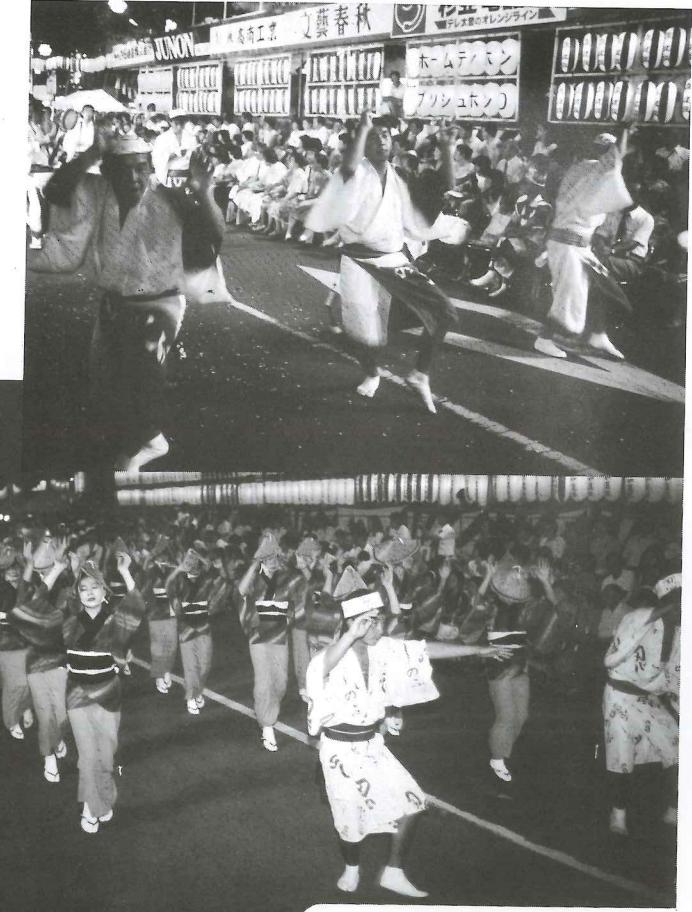
## いろは連

地球上で踊るいろは連

連長 上村明男  
創立 昭和四十八年三月一日  
連員数 九十名  
住所 杉並区高円寺北二一八一三  
電話 三三七一六一三五

創立メンバーは、昭和四十二年より徳島へ通い正調阿波踊りを追求し続け、四十八年にいろは連が誕生しました。結成後、徳島阿呆連と姉妹連となり御指導よろしく、今日のいろは連の基礎を築きました。

女は品よく男は豪快に、見る人との心のふれあいを大切に奥深い踊りに努力しています。都内近県はもとより、サンフランシスコ・ロサンゼルス・ホノルル・ハノブルグ・パリ・ニースの各都市でも大好評を博してきました。



## 忍連

連長 寺田六郎・柏谷孝博  
創立 昭和四十三年八月  
連員数 百名  
住所 杉並区高円寺南二-二〇一六  
電話 三一四一-一一一

個性を生かし、理想を追つ

私たち忍連は、新しいものを取り入れ、

連独自のリズム、おどりをつくり上げています。おどり手は自分の個性を生かし、それぞれの理想とするおどりをめざし努力を重ねています。また、おはやしは、おどり手がおどりやすくという心づかいをしながらも、他の連に負けない“おはやし”といふ誇りを持ち、迫力のあるリズムをつくり上げる様努力しています。

どうぞ、忍連のおどり、おはやしを見て下さい。あなたもきっと、おどりたくなるでしょう。

## 連紹介



## 写楽連

連長 中村和男・土方文隆  
創立 昭和五十六年八月二十五日  
連員数 六十三名  
住所 杉並区梅里二-二〇一三  
電話 三一三一五九一六

無限に踊り続ける写楽連

十年二十年の踊り経験者十五名の熱意で結成。中村和男をオーナーに役員一丸となって踊りの奥の深さに取り組んでいます。浮世絵師写楽の絵の深さ、神秘的なところに心踊らせている者達です。

おしゃれな若者達とともに、主婦連ともいえるママさん達の多い連です。家事?御主人が代ってくれています。人の心の痛さが判る人間造りにも努力し、仕事に酒に踊りにも家族的な仲間達です。

海外遠征もし、文化交流にも努力しております。まずは、無限に踊り続ける写楽連です。



## 菊水連

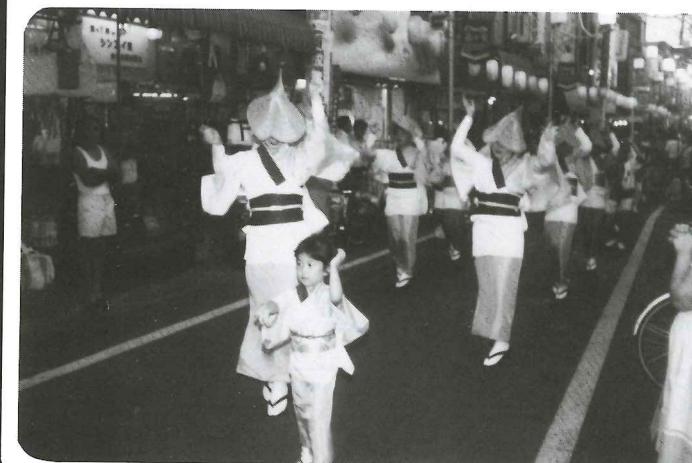
連長 山崎清一・熊木一郎・中村哲男  
創立 昭和四十三年八月  
連員数 三十名  
住所 杉並区高円寺南二-二〇一六  
電話 三一四一-一一一

返事を礼儀を大切に

私はただ踊るのではなく、小中学生には返事と礼儀を重視しています。連員数も多いためきちんとした返事、きびきびした行動が必要だからです。また、影の仕事への積極的な協力も必要です。道具調べ衣裳調べなど、当日忘れてはならない物は、いっぱい。

発足当時活躍していた人達も、現在は後続育成のため努力していただいている。このような決まりを守りぬく事こそあのすばらしい踊りやおはやしがあるのだと、連全体が心を一つに阿波踊り当日までの一ヶ月、共に汗を流しているのです。

## 連紹介



## 苔作連

連長 布澤茂寿  
創立 昭和五十一年  
連員数 三十六名  
住所 杉並区高円寺南四-二四一八  
電話 三一四一〇八一四

私達、苔作連の特徴はお雛子がよくころげていることです。そしてそれに合わせて踊っております。また女性は腰を安定させながら体全体で調子をとり、お色気をだすようにしています。

男性はうちわをふり全員が一体となって踊っています。また女性は腰を安定させて頑張っております。応援よろしくお願ひいたします。

お雛子とうちわとお色気と

## 菊水連

# 志留波阿連

志留波阿連は美人連

連長 奥田勇三—栗田林七一下田剛男  
創立 昭和四十三年五月  
住所 杉並区高円寺南四一六一一  
電話 三一四一二五五五  
連員数 約九十名

創立当初より、『志留波阿連は美人連』という評判を維持続けています。まだ完成された踊りと訓練の行き届いたフォーメーション造りによって完成されます。

志留波阿連は永遠に高円寺美人連の名を辱めないよう努力を続けてまいります。

精進の賜物なのです。

本場阿波の伝統を踏まえながら、東京の山の手の雰囲気を表現しようという努力は、



## 連紹介

連長 林一小林一大石一名取一尾股  
創立 昭和三十九年  
住所 杉並区高円寺南二一一一七  
電話 三一五一五四四六  
連員数 八十名

第八回大会(昭和三十九年)は「新高円寺」が参加に踏み切った年であり、

礼節、情熱、和に努め、前進

# 新若連

連長 林小林大石名取尾股  
創立 昭和三十九年  
住所 杉並区高円寺南二一一一七  
電話 三一五一五四四六  
連員数 八十名



新若連が創立した大変喜ばしい年でした。当連も、結成以来地元の皆様の暖かい御支援をいただいて、地域ファミリー連として努力をいたして参りました。同時に当初踊つたり、奏でたりしていた子供も、今や成人に育つて、技量を磨き特色を生かし、地域同好連的ムードを兼ね備えつつあります。

ここ数年は地元高南自治会の祭りっ子を引き連れて、すずめ連(安藤秋雄連長)が合同参加しています。

新若連はこれからも「礼節、情熱、和」と「青少年健全育成と連帯と協調」に努め、前進していきたいと思っております。

# 天狗連

たのが二十周年を迎えた天狗連のスタートでした。昭和四十六年三月徳島県阿波おどり協会所属『平和連』と姉妹関係を結び、同年八月高円寺において共演が実現し、メイク会場で大優勝旗を手にし、本場にも姉妹連として発表されました。

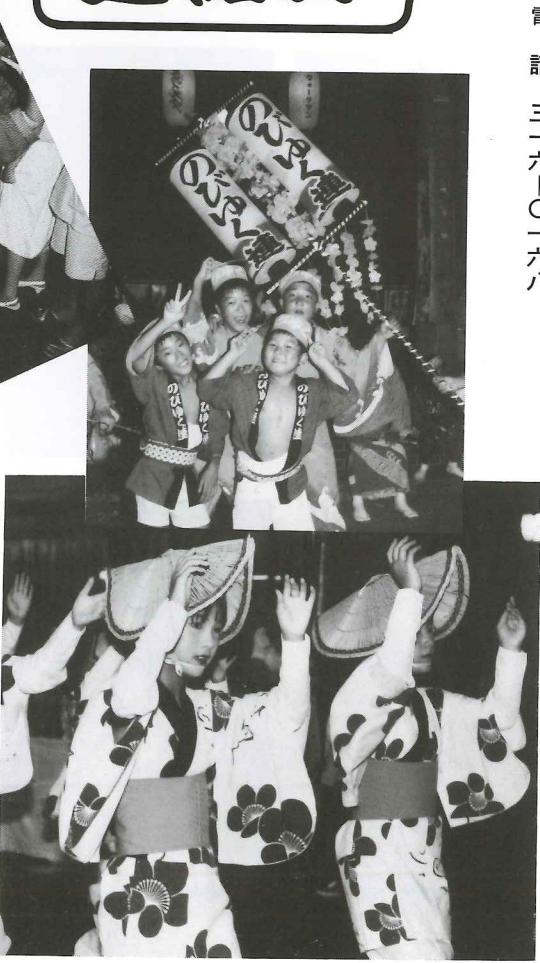
地元古参の連として常に『広めよう高円寺阿波おどり』を合い言葉に活動を続けています。今後も高円寺阿波おどりの中において多くの連員を募り、のびのびおどりを目指しております。

## 連紹介

# のびゆく連

のびゆく連は結成二十五年の伝統が有り、高円寺阿波おどり協会公認の踊り子養成連です。

連員は、小学校二年生から中学校二年生までの男子と女子のお子様をお預りし、今までの子供達が何百倍も楽しんで踊り、楽しんだという事を身を持って子供の頃に味わせ、「おどり大好き人間」を大勢育てる事を目的にしている連です。高校生にはおはやしも指導しています。



前身の『きらく連』を母体に有志を募り、四十一年八月に二十数名で高円寺初参加し

連長 福島良一—中村和男—福島啓二  
創立 昭和四十年九月一日  
連員数 百名  
住所 杉並区高円寺南三一四五一五  
電話 三一一一八七六二

広めよう高円寺阿波おどり

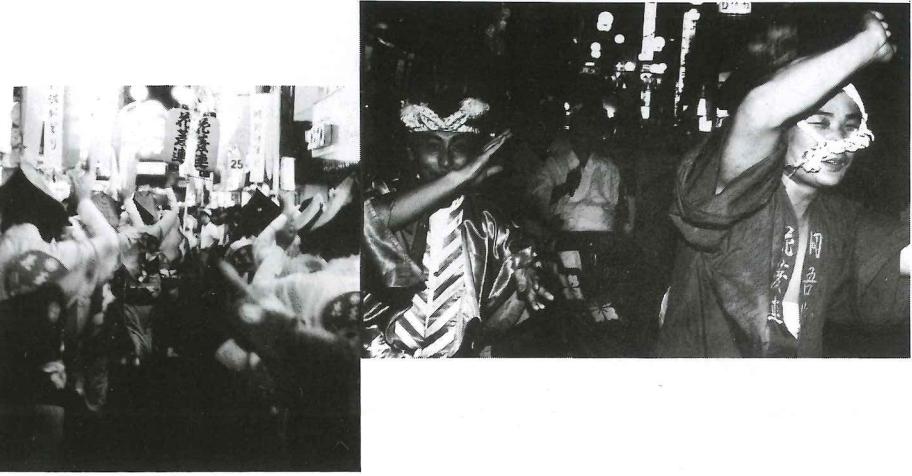


# 花菱連

阿波踊りの職人を目指して

連長 江間忠雄—藤井朝信—中倉健雄  
創立 昭和四十一年八月

住 所 杉並区高円寺北二—二三一  
連員数 六十名  
電 話 三三八一七九五五



## みどり連

連長 深瀬正一—斎木喜久夫  
創立 昭和四十八年七月  
連員数 八十名  
住 所 杉並区高円寺南三—四八一  
電 話 三一一一八五八四



### 調和のとれたチームワーク

昭和四十八年に緑ヶ丘町会を母体にして  
産声をあげたみどり連は、調和のとれたチ  
ームワークの良い連に成長しました。これ  
も先輩連のご指導のお陰と深謝いたします。  
小学校一年より踊り子を採用している関係  
で指導が非常にむずかしい現状ですが、こ  
の子達が成長するのが楽しみです。男踊り  
の指導者がいるので、女性も男踊りに多く  
出ており上達も容易の様です。

鳴物はペテラン揃いで、踊り  
やすい音色を出してくれます。  
お手伝いは町会婦人会の皆  
様のご好意で物心両面にわた  
って後援いただきおり、年  
年充実して来ました。

## 連紹介

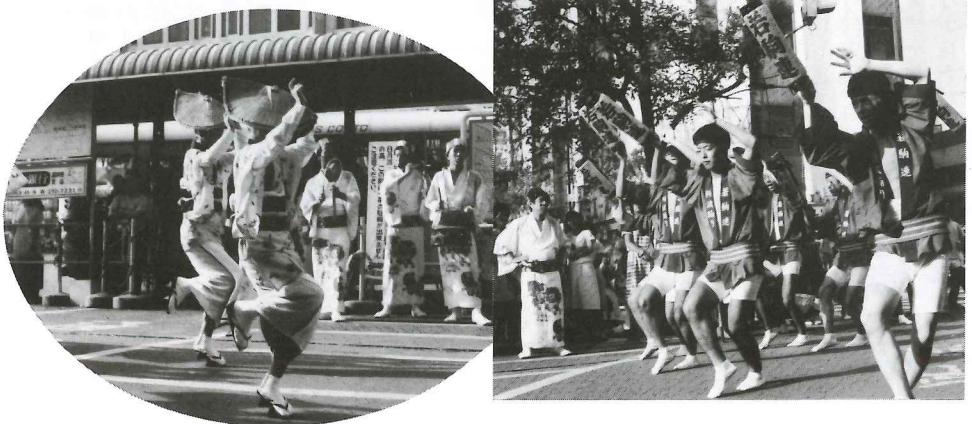


## 若駒連

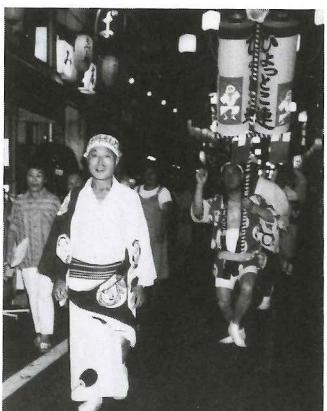
連長 田中 弘  
創立 昭和四十九年八月  
連員数 六十五名  
住 所 杉並区高円寺北二—二二一  
電 話 三三〇一〇八七一

### 若さ溢れる新しい踊り

高校生、中学生を中心に、他連にまね



することなく独自に新しい踊りに取り組み、  
各部署のリーダーの下で全員一丸となり、チ  
ームワークのとれた連です。若さあふれる踊り  
と演技を、十年以上も鍛えぬかれた連員に  
よるスケールの大きい踊りでお見せします。  
今年はチームカラーを一変し新生若駒連  
として各自連員が一段と気持ちを高めてお  
ります。新生若駒連を御期待ください。



**心行くまで楽しく過そう**  
踊り子は小中学生を主体に鳴物は大人が  
分担しています。年に一回の催しなので  
踊るものも見るものも心行くまで楽しく過  
るぞれ独立していきました。  
最初は連長を置かず世話人が五名程で連  
の運営にあたりましたが、四十年頃より、  
大野連長が就任、四十五年より小野沢連長  
と続いています。

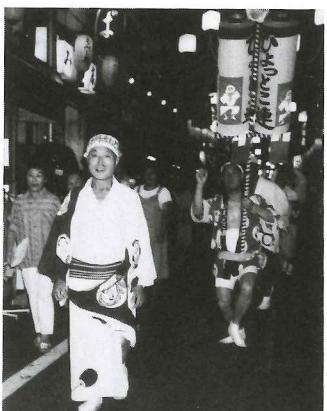


写真中央は故有吉佐和子さん

## 連紹介

連長 大野春義—小野沢尚正  
創立 昭和三十九年八月十日  
連員数 六十名  
住 所 杉並区高円寺南二—二〇一  
電 話 三一一一〇三五三

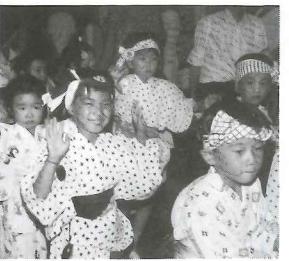
## ひよつとこ連



踊り子は小中学生を主体に鳴物は大人が  
分担しています。年に一回の催しなので  
踊るものも見るものも心行くまで楽しく過  
るぞれ独立していきました。  
最初は連長を置かず世話人が五名程で連  
の運営にあたりましたが、四十年頃より、  
大野連長が就任、四十五年より小野沢連長  
と続いています。



## 杉の子連



連長 高橋正治  
創立 昭和四十二年八月  
員数 八十名  
住所 杉並区高円寺北二一七一三  
電話 三三七一七五三二



恥ずかしがり屋のチビッコ連  
ちゃんとした連に入るにはまだ早い  
けど踊りたくてしょうがないという、  
新人からベテランまで、職種も職場も様  
々ですが、根っから  
の祭り好きが集ま  
り、仕事のあととの僅  
かな時間を利用して  
練習に励んでいます。  
高円寺銀座商店会が正式参加した年に発足  
した、由緒ある  
連です。そろい  
の笠とゲタに思  
い思いのゆかた、  
恥ずかしがって、  
すぐおだんごみ  
たいになつてしま  
う、可愛らし  
さが見どころで、  
カメラのフレ  
ッシュと声援を毎  
年一番浴びてい  
ます。

## びつくり連



がどんどん増える、こんな素晴らしい連は  
他にはないと思っているのは、連長一人で  
はないはずです。

## 杉並役所連

連長 歴代区民部長  
創立 昭和五十年八月  
員数 六十名  
住所 杉並区阿佐谷南一一五一  
電話 三一二一一二一

根っからの祭り好き団  
“地元の祭りに職員も参加しよう”的合  
言葉のもと、職員有志により結成された杉  
並区役所連。結成以来毎年連続出場です。  
年を追う毎に職員の関心も高まり、連員  
も増えてきました。  
新人からベテランまで、職種も職場も様  
々ですが、根っから  
の祭り好きが集ま  
り、仕事のあととの僅  
かな時間を利用して  
練習に励んでいます。  
高円寺銀座商店会が正式参加した年に発足  
した、由緒ある  
連です。そろい  
の笠とゲタに思  
い思いのゆかた、  
恥ずかしがって、  
すぐおだんごみ  
たいになつてしま  
う、可愛らし  
さが見どころで、  
カメラのフレ  
ッシュと声援を毎  
年一番浴びてい  
ます。

## 飲み仲間の団結

連長 林 紀元  
創立 昭和四十二年八月  
員数 不定  
住所 新宿区歌舞伎町一一一〇  
電話 二〇〇一八二八七

踊りの原点は自由にある  
数ある連の中で唯一の飛び入り自由連。  
御囃子の音に浮かれ、踊りを見ている内に  
踊りたくなった人達が、ユカタを着ていれば  
自由に勝手気ままに踊れる連。  
上手下手には関係なく、個性豊かな自由  
な踊り、それはもう踊りの原点。良い汗流  
してストレス解消、演舞場を回る毎に連員  
として、由緒ある  
連です。そろい  
の笠とゲタに思  
い思いのゆかた、  
恥ずかしがって、  
すぐおだんごみ  
たいになつてしま  
う、可愛らし  
さが見どころで、  
カメラのフレ  
ッシュと声援を毎  
年一番浴びてい  
ます。

## 花の木連

連長 鷺尾悦也  
創立 昭和五十三年七月  
員数 二百五十名  
住所 新宿区歌舞伎町一一一〇  
電話 二〇〇一八二八七

踊りの原点は自由にある  
数ある連の中で唯一の飛び入り自由連。  
御囃子の音に浮かれ、踊りを見ている内に  
踊りたくなった人達が、ユカタを着ていれば  
自由に勝手気ままに踊れる連。  
上手下手には関係なく、個性豊かな自由  
な踊り、それはもう踊りの原点。良い汗流  
してストレス解消、演舞場を回る毎に連員  
として、由緒ある  
連です。そろい  
の笠とゲタに思  
い思いのゆかた、  
恥ずかしがって、  
すぐおだんごみ  
たいになつてしま  
う、可愛らし  
さが見どころで、  
カメラのフレ  
ッシュと声援を毎  
年一番浴びてい  
ます。

## えふあいえい連

連長 木下勝広—渡辺次郎  
創立 昭和五十二年一月一日  
員数 五十名  
住所 杉並区高円寺南四一一六一一二  
電話 三一四一六二四一

熱い汗で  
燃えつけます  
英会話学校FIA  
の生徒達が中心にな  
つて連を結成。今年  
で九年目を迎えまし  
た。ディスコ調の外  
国人の先生、当日参  
加のユニークな踊り、本場徳島で研修  
をしてきた熱心な連員達が一致団結し  
て、夏の終りに燃えつけます。他の連  
も増えてきました。  
新人からベテランまで、職種も職場も様  
々ですが、根っから  
の祭り好きが集ま  
り、仕事のあととの僅  
かな時間を利用して  
練習に励んでいます。  
高円寺銀座商店会が正式参加した年に発足  
した、由緒ある  
連です。そろい  
の笠とゲタに思  
い思いのゆかた、  
恥ずかしがって、  
すぐおだんごみ  
たいになつてしま  
う、可愛らし  
さが見どころで、  
カメラのフレ  
ッシュと声援を毎  
年一番浴びてい  
ます。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”は、高  
円寺電話局開局十周  
年を記念して結成さ  
れ、猛稽古を積んで  
産声をあげました。  
以来、踊りの輪の広  
がりとともに、百四  
連の御指導の  
たまものです。  
今年も高円寺の  
町に熱い汗  
を流します。

## 花の木連

連長 井上勝義  
創立 昭和五十二年六月  
員数 百四十名  
住所 杉並区高円寺北四一一九一六  
電話 三三〇一九〇〇二

オレンジの浴衣  
さわやかに  
“でんわ連”

# 千葉葵連

連長 松本昌三・和泉 寛・和泉厚美  
創立 昭和五十一年六月十二日  
連員数 四十五名  
住所 千葉県流山市江戸川台西二丁目  
電話 〇四七一-二九三三

明るさと  
美と根性と

昭和五十一年夏、約五十名程の阿波踊り愛好者によって結成され、今年で十一年目を迎えます。徳

島県から千葉県流山市に移り住んでいた人達を中心に、土地つは勿論の事、その周辺の市町村を含めてこの連に参加する人達の地域範囲は広く、特にちびっ子が多く男女混成チームで本場葵連の千葉支部として東京高円寺の葵新連、川崎葵連などと互いに連帯を高め合いながら明るさと美と根性を第一に正調阿波踊りで今も活動をつづけており

連長 松本昌三・和泉 寛・和泉厚美  
創立 昭和四十一年  
連員数 四十五名  
住所 世田谷区北沢二一三七一七  
電話 四六八一-二九三三

自由に  
のびのびと踊ろう

昭和四十一年創立、今年になってお囃子の衣装が統一され新調されました。お踊りは子供を中心として女踊り、男踊りで構成されています。基

# 下北沢連

連長 石林正雄

創立 昭和四十年

連員数 七十名

住所 杉並区和田二一四一七晃妙会

電話 三八二一-二二八五

連長 高橋利昌・星 真市・岩崎容三  
菅野吉章・根来靖往・星 高市  
創立 昭和四十五年七月  
連員数 七十名  
住所 杉並区和田二一四一七晃妙会

電話 三八二一-二二八五

明るくさわやかな若者達

昭和四十五年、「伎成連」として初参加

# 晃妙連

本理念として、型にとらわれず「自由にのびのびと踊ろう」を掲げています。お囃子は当商店街の青年部を中心に構成されていて、その意気込みは、どこの商店街(連)にも負けないと自負しております。

翌年には、「あさがお連」に、五十年から「晃妙連」と改名しました。明るくさわやかにを合言葉に、現在は七十人

人の若手メンバーで構成し、クルクルまわす高張提灯を先頭に、毎年趣向をこらした踊りを披露、

日刊スポーツ新聞、朝日新聞、テレビ朝日などから優秀賞、優良賞、都知事賞などを受賞しています。

踊りそのものは決して上手とは言えないのですが、障害によるハンディキャップをものともせず、毎年八月の一

夜を、区民、観客の皆さんと一体となって、心から踊りを楽しみながら、"ヤットセー"のかけ声を出しています。

連長 山本 廉・浅野輝政  
創立 昭和五十六年三月七日  
連員数 二百名  
住所 杉並区阿佐谷南一一五一  
電話 三二一七〇〇七

"ヤットセー"の心意気

# 希望連

心身に障害があつても、区内でもとに生涯を送れる住みよいまちを実現することを目的にした「障害者の住みよい会」が母体で、国際障害者年の一九八一年に発足し、以来出場してきました。

また、「障害者の住みよい会」が母体で、国際障害者年の一九八一年に発足し、以来出場してきました。

# 希望連

心身に障害があつても、区内でもとに生涯を送れる住みよいまちを実現することを目的にした「障害者の住みよい会」が母体で、国際障害者年の一九八一年に発足し、以来出場してきました。

## 連紹介

# 東日連

連長 滝野國男・鈴木一男  
創立 昭和五十一年五月五日  
連員数 六十名  
住所 港区芝一六一〇  
電話 四五三一-四五〇

初めて運動会のアトラクション

昭和五十一年五月五日、会社の運動会のアトラクションによると、当時の滝野部長の提案で、"阿波踊り"を披露、産ぶ声をあげました。手さぐりで始めて限界を感じ、本場"高円寺"に教

連長 中川永一郎・鶴川長二・藤原信一  
創立 昭和二十八年  
連員数 三十名  
住所 杉並区高円寺南四一〇一四  
電話 三一四一-一六五三

東京の阿波おどり連の先駆け

昭和二十八年深川木場で、徳島出身者が

# 天恵連

連長 柏森博正  
創立 昭和六十年七月一日  
連員数 三十名  
住所 杉並区高円寺南四一〇一四  
電話 三一四一-一六五三

阿波踊り馬鹿がつく程好きになり、ぶ声を上げたばかりの天水連は、天水さえあれば他に何も無くても踊つて暮らせるという

竜は耳で音を聞かず角で把握するところから、全日本ろうあ連盟のシンボルマークでもある"竜のおとし"で構成し、クリスマス提灯を先頭に、毎年趣向をこらして踊りを披露、

日刊スポーツ新聞、朝日新聞、テレビ朝日などから優秀賞、優良賞、都知事賞などを受賞しています。

# 竜のおとし子連

子"を連の名にしました。耳が聞こえないハンデを克服しての連の結成は初代連長の、杉並区聴覚障害者協会井上会長の努力もさることながら、振興会役員の皆さんとの暖かいご指導で毎回楽しく

参画させて頂いております。

耳が聞こえないハンデを克服しての連の結成は初代連長の、杉並区聴覚障害者協会井上会長の努力もさることながら、振興会役員の皆さんとの暖かいご指導で毎回楽しく

参画させて頂いております。

連名の由来の通り、馬鹿がつく程の阿波踊り好きが集まって結成された連です。練習は厳しく、阿波踊りは楽しくをモットーに、少ない人数ながらも連員が一致団結し、ダイナミックなお囃子のリズムに乗った、力強い男踊りと華麗な女踊りで、新しい天水連にて伝統を築いていくため、徳島の観光振興のため、"東京駐在の親善使節"としての役割を果たしています。

連名の由来の通り、馬鹿がつく程の阿波踊り好きが集まって結成された連です。練習は厳しく、阿波踊りは楽しくをモットーに、少ない人数ながらも連員が一致団結し、ダイナミックなお囃子のリズムに乗った、力強い男踊りと華麗な女踊りで、新しい天水連にて伝統を築いていくため、徳島の観光振興のため、"東京駐在の親善使節"としての役割を果たしています。

天水連

天水連

# 大月連

A black and white photograph showing a group of people in traditional Japanese clothing (yukata) participating in a festival. They are holding large, decorated gourds (calabashes) and are captured in motion, some with their hands raised. The scene is outdoors, likely at a local market or street.

翌年にはさ  
「大月連」を  
た。二年後に  
連の御指導の  
波踊りを発足  
した「岩殿山か  
がり火祭り」の  
中心的催しとし  
て予想外に短期  
間のうちに市民  
の中に溶け込んで、  
本年は十七連による大月阿  
波踊りが繰り広  
げられます。高  
円寺への参加は、  
各連の代表によ  
つて構成されて  
おります。

# 連紹介

# 国分寺連

A black and white photograph capturing a vibrant street performance. In the center, several young girls in traditional Japanese dance attire are captured mid-motion, their arms raised and bodies swaying. They are wearing white blouses with intricate black embroidery and white skirts. The background is a blurred street scene at night, with the warm glow of streetlights and the faint outlines of buildings.

き連」は、板橋区役所に勤める阿波おどりの大好きな職員百人余りが集まって連を結成し、その先頭に立つて踊りつづけています。

けやき連結成の年から、高円寺阿波おどりにも参加させて頂き、今年で丁度十年になります。『高円寺の阿波おどりを目指せ』が、わがけやき連の努力目標です。これからも精一杯楽しく踊り抜きます。



片町あすか連

とする、丹沢山塊が連なり東部に平野が広がり、ぶどう、梨、みかん狩など、季節を彩る数多くの観光客が訪ねています。片町あすか連はそのふもと国道二四六号と、大山に入る交差点にあり、毎年十月に行われる商工まつりに片町商店会として、阿波おどりにて参加しています。商店主を始め、地域の子供会、民謡踊りを主体にした連です。



八月一日 優夫（五代）吉野

トしました。今は踊り目高張・鷹のシボルで、子供から大人まで調和のとれた、なごやかな連をを目指して頑張っています。これからも三鷹の阿波踊りの発展を願い、夏の夜の見物の人達に楽しんでいただけます。

# 連鎖介

連 創立 昭和五十二年九月一日  
連員数 五十名 竹内逸夫  
住所 大田区萩中二一八一  
電話 竹内時計店 七四二二〇三九  
行くぞ糀谷の阿波おどり

「助六」も江戸っ子連さんのご指導で今年で九年目になりました。連創立年にむかって、がんばっております。  
糀谷商店街の阿波踊りが高円寺の阿波踊りに一步でも近づけるようがんばります。  
高円寺阿波踊りも五十年にむけてがんばります。

A black and white photograph capturing a dynamic moment during a traditional Japanese festival, likely a matsuri. In the foreground, several performers in white costumes with large, conical hats are dancing. One performer on the right is captured mid-motion, arms raised. The background is filled with a dense crowd of spectators and illuminated by numerous streetlights and neon signs. Visible signs include "アサヒ" (Asahi), "新著洋品" (New Arrival Western Goods), and "ヨコハマ" (Yokohama). The scene conveys a sense of energy and tradition.

創立 昭和五十六年  
連員数 七十名  
住所 板橋区成増三一三〇一五  
電話 九三〇一四一八八  
世界中に阿波おどりの“わ”を  
東京板橋に子供ばかりの「成増チルド連」

からは子供達のは  
やし連もでき文字  
通り、親子一体と  
なっての参加です。  
この様なすばらし  
いイベントに盛り  
上げてこられた高  
円寺の皆様には、  
心より感謝し、世  
界中に阿波踊りの  
“わ”が広がる日  
を夢見ています。

連 長 藤岡道雄（右神賢木）  
創立 昭和五十二年七月  
連員数 七十名  
住所 神奈川県大和市大和東一十九  
電話 ○四六二一六一〇六五六  
正統阿波おどりを愛して  
大和新橋連は、十年前いろは連さく

連 長 創立 昭和五十二年七月  
神奈川道雄・石神賢木  
連員數 七十名  
住所 神奈川県大和市大和東一十九  
電話 ○四六二一六一〇六五六

成増チルド連

が誕生してから六年の月日がたちました。高円寺阿波踊りの参加は今年で五回目を数えますが、キャラリアも実力も、まだまだ足りない私達です。子供に負けてはおられぬと、

大和新橋連

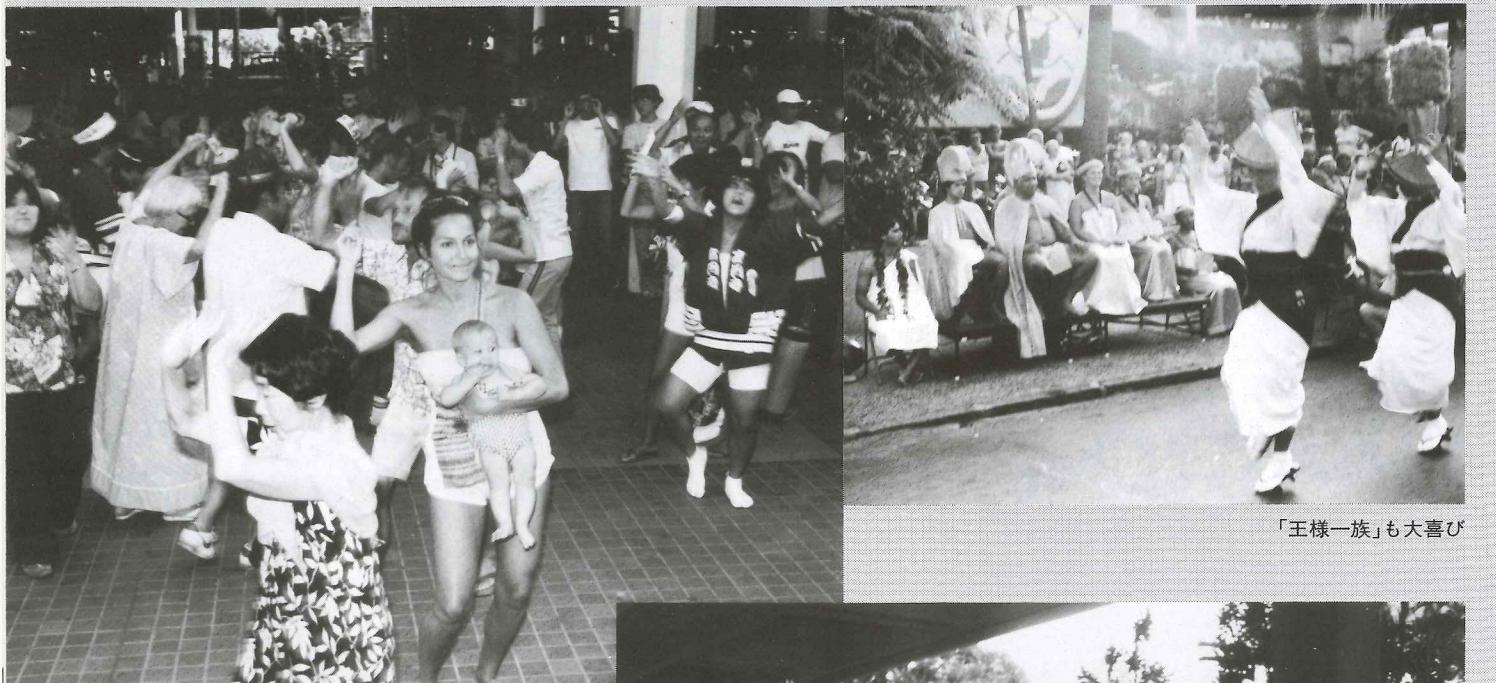
指導を受け、地元に名物をと商店主達が集まって結成されました。本年大和におきまして、盛大に十周年を迎える事が出来ましたのも、いろは連連長上村さん他高円寺の



## ハワイ



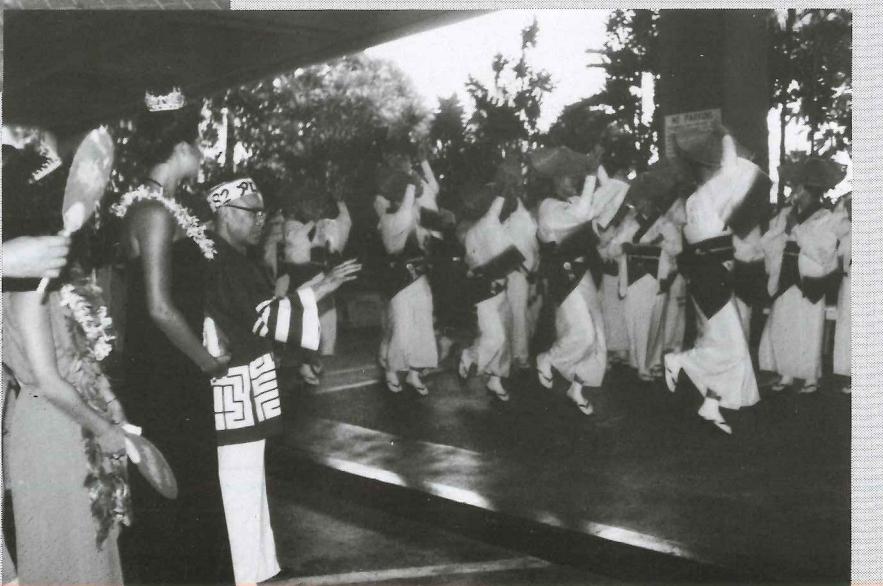
目抜き通りのカラカウア通りで大いに踊り、観衆も大歓迎



踊りのリズムは万国共通、赤ちゃんごきげん

東京都の国際文化交流事業による民間親善使節団としてハワイを訪問。ハワイ最大のお祭り「アロハ・ウィーク」に百名が参加。観衆の大歓迎をうけ、高円寺阿波おどりは国際民間交流の役目を見事に果たした。

【昭和57年9月】



ミス・ハワイ、ミス・サクラに説明する、塚本副会長

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

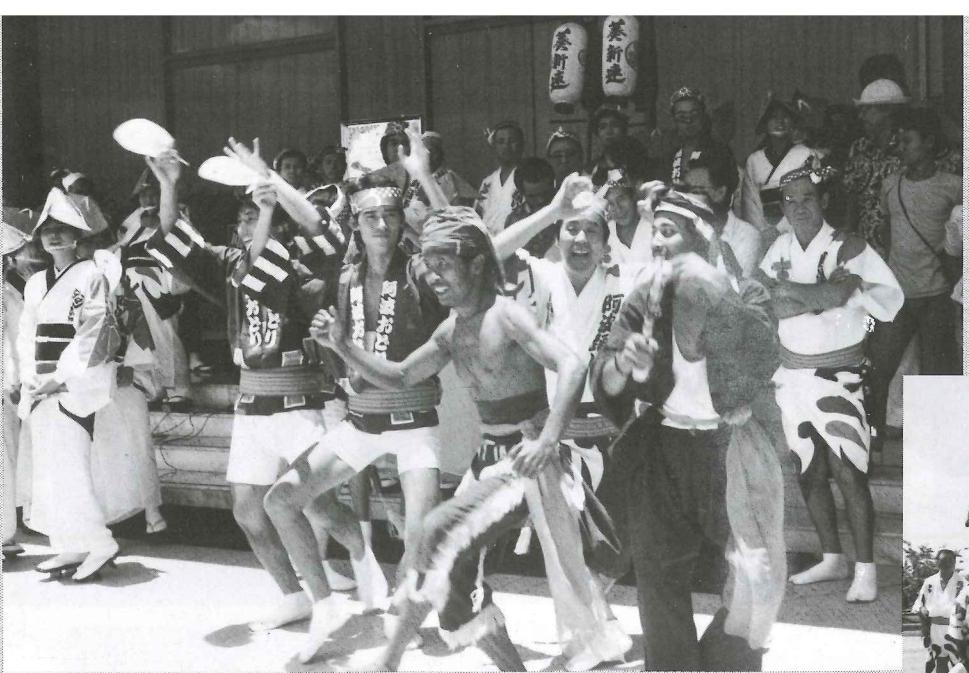
連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日
連員数	約四十名
住所	新宿区本塙町二 三五六一八一二
電話	

連長	川浪敏治
創立	昭和六十年五月一日

# アメリカ

アメリカ建国二〇〇年祭の催物として、サンフランシスコ、ロスアンゼルス、ホノルルの三都市から招待をうける。昼はアメリカ式の大パレード、夜は交歓セプションで、「いろは連」を中心とした約六十名の高円寺阿波おどりが地元民や日系人と大いに触れあう。

【昭和51年3月】



ミニインドネシアでレオダンスと共に

ミニインドネシアでの記念撮影



ジャカルタのホテル、サリ・パシフィックの招待により、葵新連と徳島県阿波おどり協会が同ホテルのジャパン・ナイトに出演。昼も、市庁舎で民族舞踊レオダンス一行と共演したり、郷土音楽のガメランにのっての大乱舞など、友好文化交流の先駆となる。

【昭和53年9月】



▲サンフランシスコ、日本人街で大熱演



## ヨーロッパ

ドイツのハンブルグ市の収穫祭での民俗パレードに一行百名が出演、地元の郷土芸能と堂々共演。途中、パリの「ムーラン・ルージュ」「リド」と並ぶ三大ナイト・シアター「パラリー・ラタン」のディナーショーに共演。

【昭和53年11月】

ハンブルグ市庁舎前での大パレード

収穫祭会場ハンブルガー・ドームで



驚き、そしてニッコリ



サンフランシスコ市庁舎前での大パレード



ホノルルの「サクラ祭り」で踊る、熊谷真実

## インドネシア

ジャカルタ市庁舎を表敬訪問



ジャカルタ市長(左)と  
徳島の小寺会長



ベルサイユ宮殿前記念撮影  
パリ「パラリー・ラタン」でのディナーショー



## 人と人とのふれあいのドラマ



上條 恒彦

とワイワイ拝見しています。  
八月末の残暑の中、今までの暑氣を一気に払わんとする“爆発”的醜味が何とも嬉しく、からだに響いてきます。

視聴率一〇〇%の超人気番組が今年も高円寺を舞台に始まろうとしています。僕はここ数年来うなぎの田中家さんの二階でうな重片手?!に大名気分、大満足で仲間たち

## セクシーにそしてわいざつに 森本 レオ

ぼくが初めて阿波踊りを見たのは、たぶん10年ほど前のことだと思います。

高円寺駅の南側から青梅街道へむかう高南通り通称“十八メートル”が、たっぷりと当てられたライトに輝き、電柱やガードレールまでがおしゃれに見えました。

観客をかきわけてようやく通りの見えるところへ出ると、ちょうど十八メートルの坂下の死角にはいっていたのか踊り手たちは見えず、あの浮きたつようなリズムだけが、遠くの方から潮騒のように響いてきました。

そのリズムの高鳴りとともに、坂のくびれから淡桃色の湯文字の鳥追い女たちが、かるく上げた両手をゆらしながらやわらかなステップであらわれた。

そして十ハメートルをいっぱいに、リズムと踊りが埋めつくしていった。まるでとめどなく舞いおいてくる南の島あの感激はちょっと忘れられない。

彼女たちは、どの舞台で観た女性たちよりも、よほどチャーミングでセクシーでした。きっと生命が沸き立っているからでしょうね。芝居をする時にも一番大切なことは見えます。

そして、男衆のダイナミックなわいざつのおもしろいこと。

この絶妙のバランスが、あの素晴らしい「南国スペクタクル」を支える秘密なんでしょうね。

近ごろはカメラに凝りだし、いつか美事に撮りたいものだと思っていたのですが、年々人出も増え、喜ばしい反面、芸能人の不便さで、あまり気楽に見物できないのが少し残念なところです。

でもめげずにカメラしようと思っているので、縁があったらぜひ御協力ください。

それからさいごに余計ですが、三周年を機に、あの十八メートルに粹な名前を贈つてあげてはいかがでしょうか。

## お祝いの言葉



藤島親方  
(元大関・貴ノ花)

高円寺阿波おどりが三十年を迎えるとうかがい、杉並で育った一人として、心から

お祝いを申しあげます。  
私の現役時代に友人の金子さんが天狗連で笛を吹いていましたので、このお祭りに興味を持ちました。毎年夏は地方巡業が続くなので、大ダイコにサインするようなことで笛を吹いていましたが、今後ますます发展され、東京の一大名物になった高円寺阿波おどりをゆっくり見物する日を楽しみにしております。

高円寺馬鹿囃子 昭和三十二年 商盛会ばんばんくらぶ作  
一、冰川の森に光り輝く 老舗ぞろいの高円寺  
エライ奴ぢやエライ奴ぢや ヨイヨイヨイヨイ  
踊る阿呆を見る阿呆 同じ阿呆なら踊らにヤソソソソ  
二、踊りなされや皆様衆よ 高円寺自慢の馬鹿踊り  
三、行きつ戻りつ南七丁 いつもネオンの灯が招く  
四、朝な夕なにおいらの街よ 今日も栄える 商盛会  
(“よしこの節”的替唄)  
一、ハアー春が来たとさ ネオンの街にさ  
憶い出すのよ あの街角を ソレ  
わたしや燃えます恋ごころ  
高円寺音頭 昭和三十四年 商盛会青年部作  
一、ハアー夏が来たとさ ネオンの街にさ  
娘くれよか むこさんとろか ソレ  
踊る若衆 花ざかり  
三、ハアー秋が来たとさ ネオンの街にさ  
いとしあなたと 手に手をとつて ソレ  
うれしじずかし 晴姿  
四、ハアー冬が来たとさ ネオンの街にさ  
あの道 この道 ほのぼのと  
雪の降る夜の語り草  
大沢誉志幸 大澤誉志幸

高円寺で生まれ、育ち、今も住んでいます。中学生の頃、高円寺中の友達と一緒に、飛鳥連で、踊ったり、鳴物をたいたりしました。少年時代の楽しい思い出です。今は忙しくて、踊ることもできませんし、見ることも余りありません。でも、高円寺のふるさと行事としての阿波おどりを、いつも心の中で声援しています。

僕と阿波おどり

南フランスのニースで開かれた「フェスティバル・イン・ニース'84」のジャパン・フェスティバルに出演。景勝地を高円寺阿波おどりが大行進。

## ニース

南フランスのニースで開かれた「フェスティバル・イン・ニース'84」のジャパン・フェスティバルに出演。景勝地を高円寺阿波おどりが大行進。

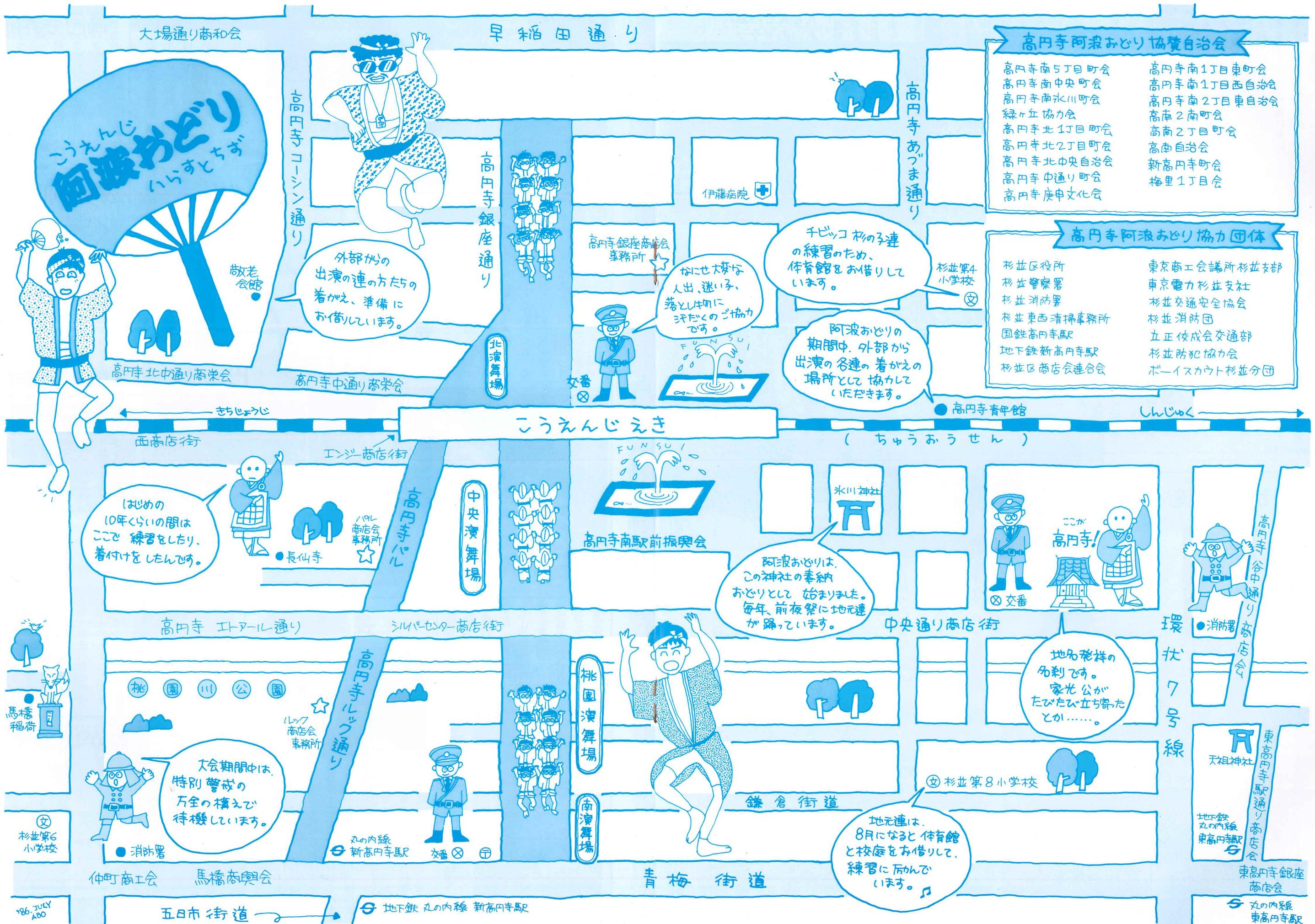
【昭和59年1月】

## ルイ・ヴィトンの店の前で

一斗樽をあけて景気づけ ホテル・プラザ前での熱演  
ニース市カジノ・クラブにて 街をいく

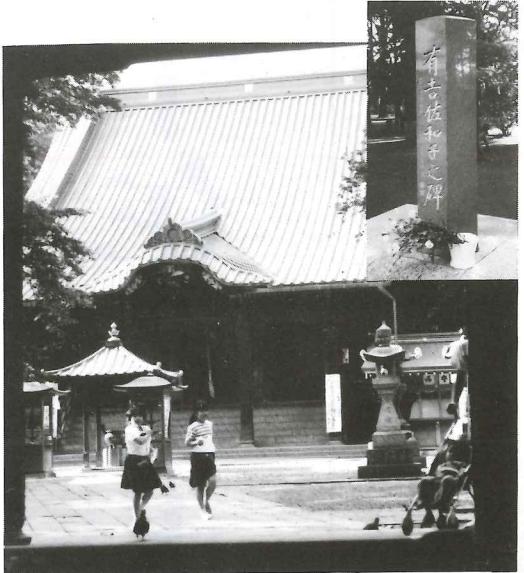


2<sup>e</sup> FESTIVAL CULTUREL JAPONAIS du 6 au 22 Janvier 1984



元和年間創立の日蓮宗の名刹です。厄除を集め、落語にも登場、おなじみ“堀の内”的一席は有名です。

国の重要文化財、都指定有形文化財等も多くの区内随一の寺院です。境内の一隅には、阿波おどりにも参加した作家有吉佐和子さんの碑が建っています。



日円山  
妙法寺

氷川神社 祭神は素盞鳴命（すさのうのみこと）、文治五年（一一八九）建立といわれ、境内末社に氣象神社があります。毎年八月二十七、二十八日に例大祭が行われ、高円寺阿波おどりもこの日に行われます。前夜祭（二十六日）には、奉納踊りが地元連により賑やかに踊られます。



氷川神社

宝永元年（一七〇四）創立の真言宗  
豊山派の寺院。本尊は、新編武藏風土  
記稿にも載っている不動明王（室町期）  
です。高円寺パル商店街に隣接してい  
る関係で、阿波おどり草創期には、こ  
のお寺の庫裡が、踊り子の仕度部屋に  
なりました。今でもシーズンが近づく  
と境内をお借りして練習することがあ  
ります。



卷之三

長仙寺

と訪れ、夜、踊り見物とシャ  
一興でしょう。

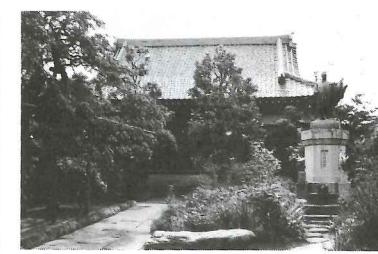
北口庚申通り  
申塔は正徳六年  
の講中十人が要  
つて建立したも  
空襲で一  
昭和三十  
され、今  
集めてい  
庚 申 塔





善寺

永禄元年（一五五八）牛込に開山、大正三  
年現在地に移転しました。曹洞宗の寺院で、境内に延命地蔵尊と愛染明王を祀る  
愛染堂があつて、縁結びを願う人々の信仰を集めています。



瑞祥山  
鳳林寺

永 緑 | 如 法 山 長 善 寺

元年(一五五八)  
開山、大正三  
地に移転しま  
曹洞宗の寺院  
内に延命地蔵  
染明王を祀る  
が、あって、縁  
願う人々の信  
めて、います。



瑞祥山鳳林寺

The image shows a bronze statue of a woman standing in a lush green garden. She is wearing a traditional Japanese-style bikini and is holding a rectangular tray with both hands. On the tray, there is a small white card with the Japanese characters 'ねがい' written on it. The statue is mounted on a low, square stone pedestal.



高円寺界隈

# 史跡めぐり

交通至便の為か、マンション、アパートが林立する高円寺ですが、その一方で古い寺院や神社等、武藏野の面影を残す史跡、旧跡が数多くあります。このコーナーでは、それらの一部を紹介してみました。昼間、これらの史跡をブラリと訪れ、夜、踊り見物とシャレるのも一興でしょう。

北口庚申通り商店街に面するこの寺  
申塔は正徳六年（一七一六）高円寺村の講中十人が悪病退散、村民安全を願って建立したものです。昭和二十年の空襲で一部が破損しましたが、昭和三十七年、現在の姿に修復され、今も地元の人々の信仰を集めています。

# ねがいの像

高円寺南四丁目の中央公園内にあるこの記念像は、昭和五十年十一月二十日地元老人会の



目を浴びる、という思いがけない余波あり。

③高円寺独自の「ばか踊り」として行ってきたが、今一つパツとしない、こんなことでは何年やつてもうだつが上がらない、いつそのこと本場徳島の阿波おどり色を強く打ち出そうと、徳島新聞東京支社、県人会、徳島県東京事務所、徳島県物産斡旋所等を連日訪問。そこで、馬橋在住の作家三田華子さん、後年発展の力となつた木場連の鴨川長二氏を紹介される。

④踊りのスタイルは前年同様、おはやしはリヤカーにスピーカーを付けて、そろそろと引いて歩く。

⑤踊りのスタイルは前年同様、おはやしはリヤカーにスピーカーを付けて、そろそろと引いて歩く。

⑥「バカ踊り」の記念スタンプが郵便局に設置された。

⑦八月二十四日の徳島新聞に「江戸っ子の阿波おどり、杉並の人気さらう」と初めて本場徳島に写真入りで高円寺阿波おどりが紹介される。

⑧テレビ局、新聞社等に積極的にPR活動を開始。その結果、読売新聞城西版に「杉並三大行事」として報道されるなど、毎日、東京、サンケイ、杉並、徳島など各紙に計十五回紹介、テレビニュースにも初放映された。

## 第5回（昭和36年）

- 東京の深川・木場の徳島県人で組織する東京踊り会の武市氏の指導を水川神社の二階で受ける。本物の指導を受けたのはこの時がはじめてであった。
- 木場連十九名が初参加。これにより技量の上った年になる。
- 浴衣を木場連より借用。
- 地元銀行の協力を得て、チラシ広告を初めて作成配布。
- 杉並・中野区内の映画館にスライド広告を出す。
- 北口銀座商店会青年部から、踊りの参加申し込みの打診があるも、残念ながら諸般の事情より実現せず。
- ちなみにこの年の「ばか踊り」の予算は百万円。

## 第6回（昭和37年）

- 有志十名が、木場の鴨川氏宅へ伺い、踊り・おはやしの基本指導をうける。初めて「本物」を厳しく仕込まれる。以来急速に技術が伸びる。
- 高円寺での稽古は、近所迷惑にならないよう、深夜に高円寺映画館を借り切つて行う。
- 商盛会で、波チドリの浴衣を作る。

## 第7回（昭和38年）

- 正式に「高円寺阿波おどり」の名称を使用。
- 商盛会のおはやし二組を新編成。
- 警視庁第一機動隊九十人が警備にあたる。
- 二十八日夕刻、猛烈な夕立のため、桃園川が氾濫し、出水。無念の思いで踊りは中止。（この年の踊りは前日の一日だけ）
- この年の踊りの予算は二百万円。
- 新高円寺通り商店会の二十数名が、自由参加に踏み切る。
- それに伴い、踊りのコースも従来の宝橋までから、草柳勝治氏等の尽力により、フジ薬局前の十字路まで延長。
- 高円寺の稽古は、近所迷惑にならないよう、深夜に高円寺映画館を借り切つて行う。
- 宮田羊容・布地由起江の漫才コンビが芸能人として初参加。
- 徳島新聞社の阿波おどりの写真コンクールに、高円寺のおどりを撮影したものも応募が可能になり、九名が入選。
- 「東京の阿波おどり」というNHK四国向け放送に出演、NHK霞ヶ関スタジオで木場連と共に演。（木場からのお誘い）

## 第8回（昭和39年）

- 「阿波おどり展」開催。阿波おどり画家として知られる正木茂画伯の力作十数点に、これまでの高円寺阿波おどりの写真、および徳島の物産展等を八千代信用金庫高円寺支店で展示。
- TBSテレビが、スウェーデン向け「東京のお祭り特集番組」の取材で大口ケーション敢行。
- 「学べ徳島」と徳島新聞社のご好意で、本場徳島の有名連を8ミリに克明に収録。その後の練習会で上映、技術の向上に役立つ。
- また翌年に徳島阿波おどりを視察するため、積み立て貯金を開始。
- 「題名のない音楽会」（NET）四十名、「十二の関所」（東京12チャンネル）十五名、いずれも杉並公会堂に出演。



第8回③ロケーション模様



第7回自由参加した新高円寺



昭和38年海水浴場でも練習

組		商	盛	連
B	A			
組 演 女 子	1 黒 田 美恵子	2 田 藤 原 井 三	3 坂 原 三	4 堀 田 原 吉 中
商 協 野 井	5 百合子	6 井 井 伸	7 原 伸	8 堀 伸
盛 遊 原 伸	9 美智子	10 伸	11 伸	12 伸
連 連 伸	13 美ノブ	14 伸	15 伸	16 伸
	17 淳子	18 伸	19 伸	20 伸
	21 伸	22 伸	23 伸	

第6回⑥野村証券連



第6回②木場連の踊り



第4回⑥記念スタンプ



第4回④子供連

盛況の模様（第5回）



第8回②新高円寺商店会参加



第8回⑥「十二の関所」



第9回⑥内外タイムス取材風景

第6回踊り参加者及び編成

●第6回／踊り手2連（木場連野村証券連参加計103名）。見物人1日約10万人。<各新聞に25回掲載、テレビニュース1局放送>【三河島事故・堀江謙一ヨットで太平洋横断・歌一王将・東京都人口1千万人突破】●第7回／踊り手3連（木場連合めて250名）。踊り8組。見物人1日約10万人。<各新聞に26回掲載、テレビニュース等6回>【米大統領ケネディ狙撃される・歌一こんちわ赤ちゃん・新千円札（伊藤博文）登場・力道山刺される】●第8回／おはやし4連踊り10連（350名）。見物人1日約10万人。【東京オリンピック開催・東海道新幹線開業・新潟地震発生・ニットウェア、ノースリープ流行】



第6回⑩右側立っているのが鴨川氏



第6回⑨TBSラジオ中継



●第4回／踊り手1連（男37名女、子供28名）。見物人1日約4万人。【ダッコちゃんブーム】●第5回／踊り手1連（男38名女、子供32名）。見物人1日約8万人。<各新聞に25回掲載、テレビニュース3局放映>【ガガーリン飛行士地球を回る・歌一上に向いて歩こう】

## 第9回（昭和40年）

①踊りのコースが青梅街道までの八百メートルに拡大。このころになると警察当局も好意的になり、踊り場拡大により観衆を分散することが事故防止になると、許可を出し渋ることもなくなる。

②またこの年から雨天順延が一日だけ認められるようになる。

③阿波おどり人気投票、阿波おどりセールを実施。

④商盛会が、二色染めの本場風踊り浴衣を新調。

⑤阿波踊り留学と称して、本場徳島へ商盛会の幹部有志十二人が訪問。大演舞場で堂々踊り出すものがあらわれた。

⑥内外タイムスより取材。約一頁の特集記事に。

## 第10回（昭和41年）

①高円寺阿波おどり十周年。八つの町会の理解及び協賛を得て、盛大になる。

（協賛町会・氷川町会、緑ヶ丘町会、エトアール通り商店会、馬橋一・二丁目商店会、高円寺南町会、高円寺南二・三丁目町会）

②高円寺駅南口広場が踊りのコースに入る。

③駅前広場にエースコックの大廣告塔が出現、ムードを盛り上げた。

④阿波おどり宣伝隊を編成。昼間、町街や広場で、高円寺阿波おどりの景気を盛り上げる。

⑤徳島市観光協会などの阿波おどりのキャラバン隊一行四十名が南口広場で、観光宣伝を兼ねて踊る。

⑥宝橋際に百名を収容する桟敷を設置。近接町会の老年者を招待。

⑦いしだあゆみ、久保浩さんが雑誌「明星」のグラビア撮影のため特別参加。地元有志連二十名と一緒に桟敷の前で大熱演。

⑧緑ヶ丘連、氷川町会連など多数の参加。

⑨新高円寺通り連では、前年の四連から一举に七連を編成し参加。

⑩北口銀座商店会連十三名が参加。

⑪NETテレビ「アフタヌーンショウ」に出演（八十五名）、徳島と二元中継で、徳島から来た「たから連」とテレビ局前で共演。ところが、その時高円寺の商店街で六軒を焼失する火事がある。知らせを聞き、出演者はあわてて高円寺に戻ったものの、踊りうかれていた間の出来事で、浴衣姿も体裁が悪く、出演者はこそこそと帰宅。（八・一八）

⑫TBSテレビ「はるみと歌おう」。高円寺選抜隊十一名が徳島の「たから連」と蜂須賀連小野正巳氏と共に演（八・三一）。フジテレビ「ズバリ！当てましょ！」

小野・姓憶氏のお説いて鳴物六名が選抜出演。小野正巳氏・姓憶政明氏のおはやしをつとめる（一〇・二九）。フジテレビ「ちびっこトリオクイズ」ちびっこが広いスタジオで大熱演（一一・五）。

## 第11回（昭和42年）

①中央線が高架線となり、踏み切りが無くなり、踊りのコースが北口まで拡大、北口銀座十五屋前から青梅街道までとなる。

②高円寺北口の高円寺銀座商店会協同組合が正式に参加。

③「葵新連」「天狗連」の独立連が誕生。以後本格的な技術を目指す同好の士が集まり連を続々と結成。技術向上に貢献。

④徳島から小寺佐平会長、小野正巳連長率いる「葵連」（十五名）が姉妹連「葵新連」の誕生を祝って友情出演。本場の阿波おどり連が高円寺で見ることができたのはこれが初めて。

⑤「葵連」により踊り勉強会が、神戸銀行三階ホールで開催。本場の踊りに直接した初の機会で、大変な人気。

⑥本場徳島をもとと知つてもらおうと、高円寺阿波おどり実行委員会は、本場ムードを盛込んだパンフレット「阿波おどりへのいざない」を作製。踊りのコツや「新連」の誕生を祝って友情出演。本場の阿波おどり連が高円寺で見ることができたのはこれが初めて。

⑦「葵連」により踊り勉強会が、神戸銀行三階ホールで開催。本場の踊りに直接接した初の機会で、大変な人気。

⑧本場徳島をもとと知つてもらおうと、高円寺阿波おどり実行委員会は、本場ムードを盛込んだパンフレット「阿波おどりへのいざない」を作製。踊りのコツや「新連」の誕生を祝って友情出演。本場の阿波おどり連が高円寺で見ることができたのはこれが初めて。

⑨「葵連」により踊り勉強会が、神戸銀行三階ホールで開催。本場の踊りに直接接した初の機会で、大変な人気。

⑩「葵連」により踊り勉強会が、神戸銀行三階ホールで開催。本場の踊りに直接接した初の機会で、大変な人気。

⑪「葵連」により踊り勉強会が、神戸銀行三階ホールで開催。本場の踊りに直接接した初の機会で、大変な人気。

⑫「葵連」により踊り勉強会が、神戸銀行三階ホールで開催。本場の踊りに直接接した初の機会で、大変な人気。

## 第12回（昭和43年）

①明治百年を機に、警視庁の許可方針がゆるみ、阿波おどりが都内の各商店会など始まるようになる。

（毎年増え続け、現在では二十ヶ所をこえると思われる）

②高円寺阿波おどり写真コンテストが始まる。

③雨天で踊りは早めに切り上げられる。各連はそれぞれさばらし。

## 第13回（昭和44年）

①高円寺南口駅前の十八メートル道路完成。町会の多大な協力を得、大演舞場となる。（現在の中央演舞場）

（1）高円寺南口駅前の十八メートル道路完成。町会の多大な協力を得、大演舞場となる。（現在の中央演舞場）



第11回⑤「葵連」の勉強会

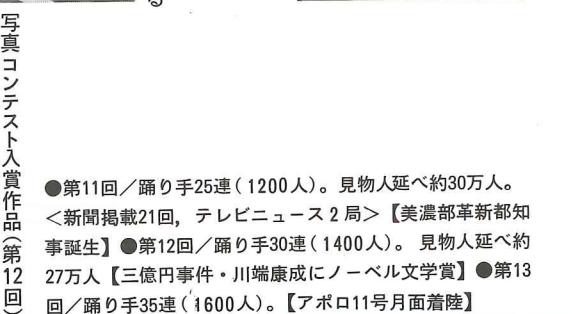
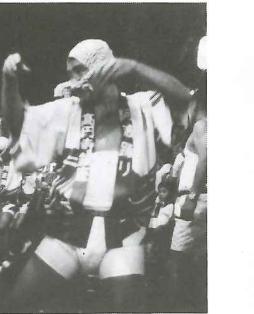


第11回④徳島から友情出演

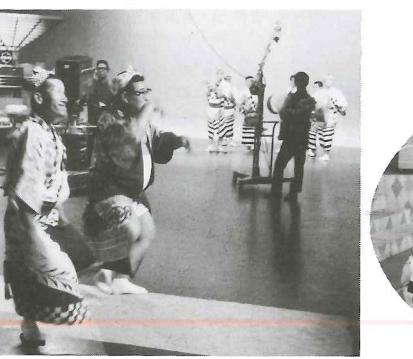
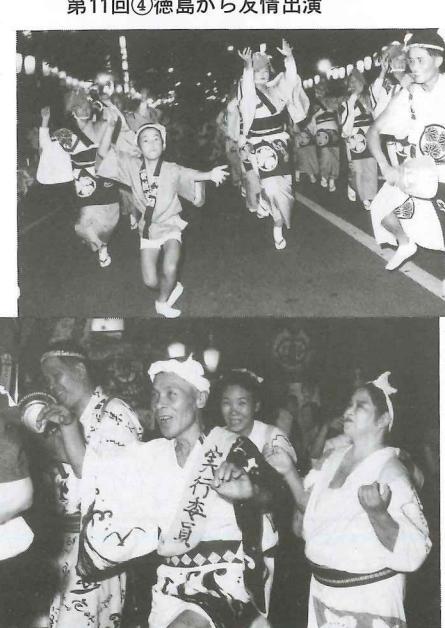
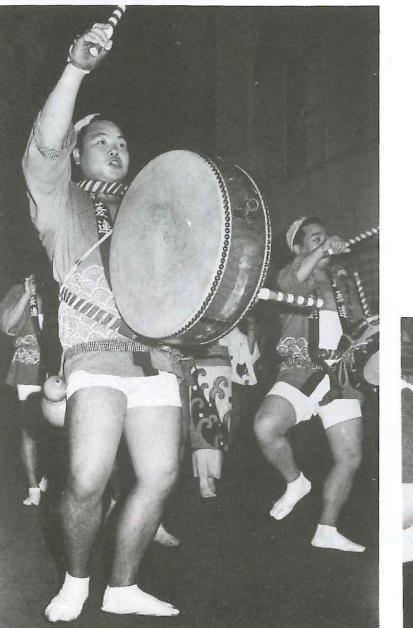


昭和40年徳島留学時の徳島新聞

第13回①待望の大演舞場で踊る



●第11回／踊り手25連（1200人）。見物人延べ約30万人。  
（新聞掲載21回、テレビニュース2局）【農業革新都知事誕生】●第12回／踊り手30連（1400人）。見物人延べ約27万人【三億円事件・川端康成にノーベル文学賞】●第13回／踊り手35連（1600人）。【アポロ11号月面着陸】  
写真コンテスト入賞作品（第12回）



第10回⑫「ズバリ！当てましょ！」



（1）高円寺阿波おどり十周年。八つの町会の理解及び協賛を得て、盛大になる。

（協賛町会・氷川町会、緑ヶ丘町会、エトアール通り商店会、馬橋一・二丁目商店会、高円寺南町会、高円寺南二・三丁目町会）

（2）駅前広場が踊りのコースに入る。

（3）駅前広場にエースコックの大廣告塔が出現、ムードを盛り上げた。

（4）阿波おどり宣伝隊を編成。昼間、町街や広場で、高円寺阿波おどりの景気を盛り上げる。

（5）徳島市観光協会などの阿波おどりのキャラバン隊一行四十名が南口広場で、観光宣伝を兼ねて踊る。

（6）宝橋際に百名を収容する桟敷を設置。近接町会の老年者を招待。

（7）いしだあゆみ、久保浩さんが雑誌「明星」のグラビア撮影のため特別参加。地元有志連二十名と一緒に桟敷の前で大熱演。

（8）緑ヶ丘連、氷川町会連など多数の参加。

（9）新高円寺通り連では、前年の四連から一举に七連を編成し参加。

（10）北口銀座商店会連十三名が参加。

（11）NETテレビ「アフタヌーンショウ」に出演（八十五名）、徳島と二元中継で、徳島から来た「たから連」とテレビ局前で共演。ところが、その時高円寺の商店街で六軒を焼失する火事がある。知らせを聞き、出演者はあわてて高円寺に戻ったものの、踊りうかれていた間の出来事で、浴衣姿も体裁が悪く、出演者はこそこそと帰宅。（八・一八）

（12）TBSテレビ「はるみと歌おう」。高円寺選抜隊十一名が徳島の「たから連」と蜂須賀連小野正巳氏と共に演（八・三一）。フジテレビ「ズバリ！当てましょ！」

小野・姓憶氏のお説いて鳴物六名が選抜出演。小野正巳氏・姓憶政明氏のおはやしをつとめる（一〇・二九）。フジテレビ「ちびっこトリオクイズ」ちびっこが広いスタジオで大熱演（一一・五）。

第9回④新調の浴衣を着て踊る踊りの名手と天才児



●第9回／おはやし8連踊り12連（500名）うち商盛会は、きらく連・こだま連・うずまき連・なかよし連・のひゆく連・紅雀連・陽気連・オール東京連。見物人1日約12万5千人<テレビニュース5局放送>【明治村開村・国鉄「みどりの窓口」、ミニスカート、チリ紙交換等現れる】●第10回／踊り手19連（800名）。見物人延べ約28万人【東京湾、羽田、富士山上空と飛行機事故相次ぐ。ザービートルズ来日。松代群発地震で大被害。NHKテレビ「おはなはん」】

## 第14回（昭和45年）

①この頃阿波おどりを年中行事とする商店会に呼びかけ、親睦および情報交換、技術指導、相互授を目的とした「東京都商店街阿波おどり振興会」という組織を結成。（一、三年で自然消滅）

## 第15回（昭和46年）

①十五周年、飛躍の年。高円寺に「東京名物あり」といわれるようになる。それは宣伝広告の力が大であった、その後の隆盛の大きな一因となつた。

チラシ、手書きポスターを貼り歩いたり、手書きの立看板を街頭に立てたりこれまでの原始的なPRを卒業し、本格的なポスターを製作。国電の車内広告や駅貼り広告まで行う。

このポスターについては、徳島出身で学生時代高円寺で踊っていた国安氏によるところが大。

②サンケイ新聞社の後援がつく。

③前夜祭がはじまる。

④昼間、南口駅前広場で写真コンテスト大撮影会を開催。（二年づづく）

⑤徳島県知事より、阿波おどり普及により感謝状をいただく。

## 第16回（昭和47年）

①徳島県知事、徳島市長より優勝旗等が送られる。

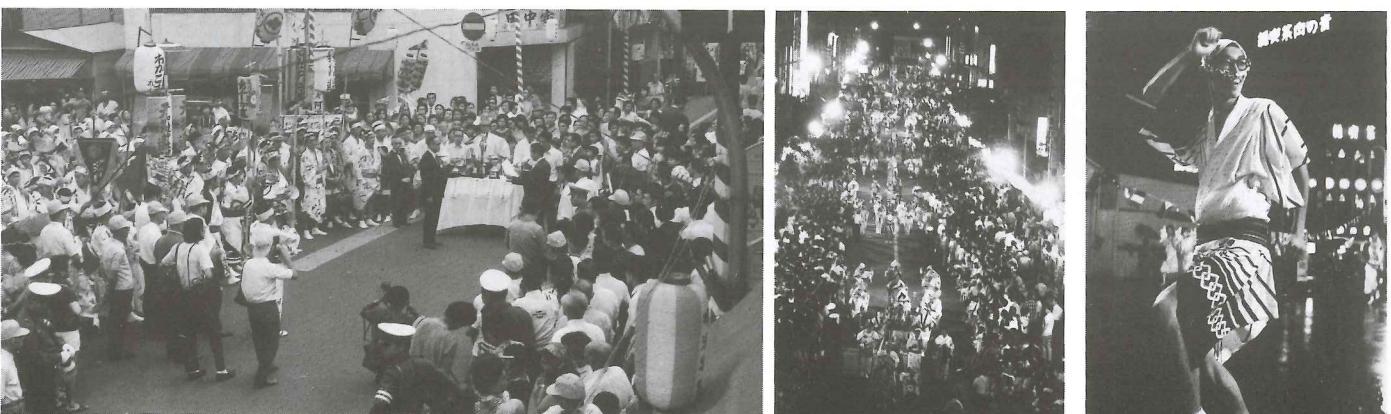
②本番中スリが一件発生するも、みごと犯人逮捕の快挙。また報知機のいたずらで消防車の空まわり騒ぎもあり。

③この年に、有力独立連がほぼ勢揃い。高円寺を彩る主力連が技を競いあう時代に入る。

④各地の公共的行事地域商店街の阿波おどり導入に、本格的指導にあたる。

⑤国鉄高円寺駅主催の「本場阿波おどり観光団」になんと五百名が参加。

⑥勤労青少年の日、中央大会に出演（於・国立代々木競技場第二体育館）



第22回③全国郷士祭の夜の舞台(下)



●第16回／踊り手43連(2200人)。見物人延べ約45万人【横井さんゲム島で発見・高松塚古墳に極彩色壁画】●第17回【オイルショック・東京ゴミ戦争】●第18回／踊り手45連(2500人)。【小野田さんルパン島で発見・長島茂雄現役引退】●第19回／踊り手45連(2700人)。【エリザベス女王来日・沖縄海洋博】●第20回【ロッキード事件・植村直己北極圈走破・歌ーおよげたいやきくん】●第21回【チャップリン死去・王選手756号】●第22回【成田空港開港・世界初試験管ペリー誕生・テレビ「鳴門秘帖】●第23回【東京サミット・鈴木都知事誕生・テレビ「なっちゃんの写真館】

## 第17回（昭和48年）

①広告ちゅうちん用の電線が急に不足、そして大幅値上げ。ここにもオイルショックの前兆あり。

②各連同士の情報交換・協力・親睦をはかる目的で、十五連が「連長会」を発足。

## 第18回（昭和49年）

①東京の阿波おどりの最盛期に入る。

各地の「阿波おどり」に応援や指導、さらにはテレビ出演と繁忙をきわめた。

②池袋の「大地祭」始まる。阿波踊りを主体にしたお祭りで、高円寺が全面的にバックアップ。第九回まで続く。

## 第19回（昭和50年）

①高円寺阿波踊振興協会設立。

## 第20回（昭和51年）

①徳島の踊り用品店、高円寺に夏期臨時店を出店。代替りをするも現在に至る。

②アメリカ建国二百年記念に「いろは連」を中心として海外遠征。（二月）

③朝日新聞社が後援となる。

## 第21回（昭和52年）

①高円寺阿波踊振興協会設立。

## 第22回（昭和53年）

①ホテル・サリ・パシフィックの招待により、ジャカルタに高円寺葵新連と徳島県阿波踊協会が遠征しジャパンナイトに出演。（九月）

②ドイツ・ハノーファーに高円寺連が遠征。（十一月）

③商工会議所百年記念、全国郷土祭に出演。天皇陛下ご臨席のもと、徳島からは百五十人、高円寺からは六百人が、昼は選抜隊、夜は全員で踊る。

このことが、高円寺の連と徳島の連との交流が盛んになるきっかけとなり、全



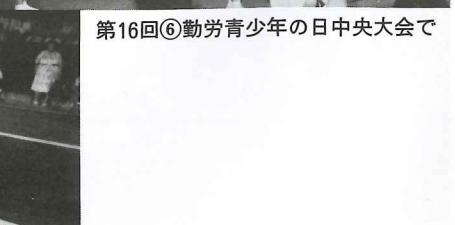
第22回⑥「日本民謡まつり」(於・国立劇場)



●第16回／踊り手38連(1750人)。【日航よど号ハイジャック・大阪で科学万博・杉並立正高校に光化学スマッグ】●第15回／踊り手40連(2000人)。【新宿に高層ビル建つ・天皇陛下欧洲七ヶ国歴訪】



第18回②大地祭の模様



第16回⑥勤労青少年の日中央大会で

①新たに都知事杯、区長杯を作成、優勝連に送られる。  
②都内のホテルの観光案内や英字新聞に高円寺阿波おどりが紹介されだし、ウデ  
自慢の外国人ダンサーがフィーバー。  
③消防百年全国大会が後楽園球場で天皇陛下ご臨席のもと行われる。徳島から百  
名、高円寺阿波おどりから二百名が合同で踊る。（一一・二七）

## 第25回（昭和56年）

①二十五周年記念行事として、よい子のみなさんに、踊りだけでなく情操の面でも向上してもらおうと、社会科見学会実施。浜離宮、朝日新聞社、NHK放送センターなどを回る。  
②同じく二十五周年記念行事として、連協会主催の徳島旅行にバス一台、八十名が参加。  
③「連長会」を発展解消し、「高円寺阿波おどり連協会」を設立。現場サイドから高円寺阿波おどりの発展に尽力する態勢を整えた。

## 第26回（昭和57年）

①東京都の国際文化交流事業による民間親善使節団としてハワイ訪問。ハワイ最大の祭り「アロハ・ワイ・イーク」に百名参加。観衆の大歓迎をうけ、高円寺阿波おどり一行は国際民間交流の役目を立派に果たす。（九・一六～二一）  
②杉並区が区制五十周年の記念映画「ここにあるまち杉並」を製作。ラストシーンに、みごとなカメラワークで高円寺阿波おどりの迫力満点の場面が紹介される。  
③高円寺阿波おどり写真コンテスト再開。

## 第27回（昭和58年）

## 高円寺での阿呆な調査のてん末

立教大学社会学部教授 松平 誠

大学が、町の踊りの調査をして、何になるのだ、よく聞かれる。これがわたしの学問なのだ、と答えると、実に奇妙な呆れたような顔をされる。  
たしかに、この調査は、これまでの大学や学者のイメージではかろうとする、どうも直ぐにはみだしてしまった。だいたい、学生たちをけしかけて、二ヶ月もの間、毎週のようない、阿波踊りの練習をさせるゼミナールなど、連の皆さんのが波のようにうねっていかれるなが、馬鹿面をして調査する。これもまた、何とも阿呆な話である。  
それよりなにより、こんなにたくさん関係者に迷惑をかける調査があつていいものだらうか。紙面の都合でお名前は省略するが、挙げていけば、この稿がそれだけで一杯になってしまふ。年中変な質問を繰りかえして、散々呆れられながら、まだ飽きもせず、性懲りもなく、お邪魔するのであるから、余程、しかし、これがわたしたちにしてみれば、まことに大事な仕事なのだから、物好きといわれても仕方あるまい。でも、「泥棒にも三分の理」という諺もある。少しは、説明させていただいても、まあ許されることだろう。

わたしに言わせれば、高円寺の阿波踊りほどに、現代日本の社会と生活とを、よく表わしているものは少ないのである。  
一般に、地域社会での文化を研究するとい

うと、町のなりたちや、そこで生活を実際に調べ、住んでいる土地での人々の結びつきを中心にして問題をたてていくのが普通のやうりかたである。ところが、皆様先刻ご承知のように、この催しは、そんな枠組では、うまくつかまえることができない。  
そこには、千葉の流山からきた連もある。山梨の大月からやってきた人々もいる。高円寺の街に支えられていることは事実であるが、町会が主体ではない。職場の連もあれば、身障者の連もある。呑み仲間の連から飛び入りの連まで、そのなりたちは、実にさまざまである。五十の連を結びつけるただ一つの糸である踊りも、その原産地といえば、阿波の徳島である。

何もかもが、これまでの民俗文化や地域生活の枠組には嵌らない。そして、そのような祭りが、数十万の見物客でごったがえす。五千人におよぶ踊り手が、一年にただ一度の出会いを阿波踊りの一点にかけて、真夏の夜に踊り狂う。  
それは、現代がうんだ新しい人ととの結びつきの形を示しているのではないだろうか。都市の新たな共同生活が、住む土地を超えて、職場を超えて、職業や地位、年齢や性のちがいをも超えて、つくりあげられつつあることのシムボルなのではなかろうか。こう考えると、この東京の夏の風物詩が、なんだか現代都市の演ずる魔法のように思えて、わたしの研究心は、ついムズムズしてしまうのである。

改めて申し上げるまでもなく、阿波おどりは徳島が本場である。四百年の歴史があるといふから、高円寺の三十年とは桁が違う。それだけに踊り人口も多いし、技術の水準も高い。

高円寺諸連の中から代表的な囃し手踊り手だけを選んで一連を組めば、徳島の有力連に近い阿波踊りが出来るかも知れないが、徳島にはそのような力を持つ連がたくさんある。いつの日にか徳島に追いつきたいと思つてはいても、しょせんかなわぬ夢かも知れない。  
去年徳島のある有力連の幹部とお会いした時、足の裏の「踊りダコ」を見て、真底驚いてしまった。「土ふまず」から先の部分が大きく盛り上がり、カッチリ固くなっている。絶対に「カカト」をつかぬ修練の種み重ねが「タコ」を作つたのだ。こんな踊り手が高円寺にいるだろうか。  
見かけの上では、技術の差はかなり縮まってみえる部分があるとしても、筋金の入りようが違うのだ。私達も三十年をステップにして一層の飛躍をするためには、「見かけだけの阿波踊りではなく、見る者に感動を与える本物の阿波踊り」へ、路線を変えなければならないだろう。

さて、高円寺と徳島との交流は、昭和三十九年頃から始まっているのだが、交流は主として連ベースで行われている。高円寺の各連が、技術の向上と踊りの心を学ぶべく、徳島

の有力連と連携、各連各様の仕方で、交流している。現在、姉妹連関係を結んで、相互に協力し合っているのは、次の通りである。

葵連	江戸っ子連	いろは連
阿呆連	飛鳥連	天狗連
茶平連	天作連	
阿呆連	阿呆連	
葵新連	江戸っ子連	
高円寺	高円寺	

## 徳島に学ぶ

関根 敏邦



●第24回【王選手現役引退・山口百恵婚約・テレビ「マーコちゃん】●第25回【ローマ法皇来日・本・窓ガラスのトトちゃん】●第26回【木テル・ニュージャパン炎上】●第27回【日本海中部地震・テレビ「おしん」・大韓航空機ソ連のミサイルで墜落】●第28回【見物人延べ80万人・怪人21面相事件・エリマキトカゲに人気】●第29回【見物人延べ90万人・科学万博・御巣鷹山に日航機墜落】

## 始まりは商盛会の記念行事

関根 高円寺阿波おどりも今年で三十周年を迎えることになりました。そこで、それぞれの立場でご尽力いただいている皆様にお集まりいただき、お話を伺いたいと思います。

まず、高円寺阿波おどりが始まった昭和三十二年当時のことから始めたいと思います。

天野 そうね、当時の商店街は、僕たちの父親の代のつながりはあつたんだろうけど、二世というのか、我々若い者のつながりが薄くて、それで相互理解を深めるために高南商盛会(現在の高円寺南商店街振興組合)に青年部を作ったんだったよね。その中で、せっかく若いのが集まつたんだから記念に何かやろうということになつてさ。

今もやられているけど、当時は、隣り駅の阿佐谷の七夕祭りに大変な人気があつてさ、それに対抗できるものは何かないかと知恵をしぼつたんだよね。

小沢 どうせやるなら高円寺にふさわしい賑やかなものがいいとかね。

関根 結成されたのが八月の初めで、その月の二十七・八日に氷川神社のお祭りがあるから、その時みこしでもかつごうとか。

森田 阿佐谷が「仙台の七夕」を持ってきたなら、こっちは南のものにしようという話もありました。

小沢 そんな時、魚屋の「大晴」のご主人の茂木さんから、この商店街には広場がないから、盆踊りみたいなのはだめだ。道路を踊りながら練り歩ける「阿波おどり」はどうだろうと提案があったんだ。うまくいけば名物になるかもしれないから是非やろうってね。

小沢 それで決まって、ここは阿波じやないなら、こっちは南のものにしようという話もありました。

天野 女もいましたか。

森田 本当に、男ばかりかと思っていたんですけどね。

城石 写真が残つてますものね。

森田 女性はピンクのじゅばんにおそろいの浴衣を着て、きれいにお化粧をしてね。

天野 踊った人数はどのくらいでしたかね。

森田 たしか、男が二十一名、女が十二名いました。

天野 女もいましたか。

森田 本当に、男ばかりかと思っていたんですけどね。

天野 それで決まって、ここは阿波じやないなら、こっちは南のものにしようという話もありました。

天野 それで決まって、ここは阿波じやないなら、こっちは南のものにしようという話もありました。

関根 いくら「バカ踊り」と言っても、阿波おどりというような郷土芸能というのは、お化粧をしたり、お面をかぶったりして仮装をしてまでやつても、長く続くもんじゃないと思っていました。うん。そんな浮かれたものじゃなく、もっと地味なもので、自分に責任を持っています。

関根 おはやしはチンドン屋さんでしたね。確かにチンドン屋さんは太太鼓と小太鼓とカネが付いているんだよね(笑)

天野 でも、その時は後でこんなに隆盛になると思わなかつたし、とにかく精一杯やるだけね。

## 阿波おどりが歌舞伎になつちやつて

関根 二回目でしたかね、先生からしゃもじを持たされたのは。

小沢 それから高円寺の南口の改札口の前で一・二・三・四と体操をさせられたり、歌舞伎の六方を踏ませられたり。あれは恥ずかしかつたね(笑)

天野 でも、その時は後でこんなに隆盛になると思わなかつたし、とにかく精一杯やるだけね。

から「高円寺ばか踊り」の名称にして。

関根 水川神社のお祭りにあわせて、二十七・二十八日にやることもすんなりと決まりました。

みようじやないって決まつたんだけど、実は本当の阿波おどりなんか誰も知らない。

小沢 踊りはだれかに紹介された日本舞踊の男の先生に三日間習つたぐらいです。

天野 その立花流の男の先生に振り付けてもらつたんだけど、みんなよくわからなくて。

天野 でも「まあ何とかなるだろう、やってみたね」って決まつたんだけど、実は本当の阿波おどりなんか誰も知らない。

天野 第一回の時、皆で長仙寺の境内に集まつた時の悲壮な気持ちは、今でも忘れられないよねえ。

小沢 足がガタガタ震えてねえ、ドキドキして。(笑)

天野 那から先生に化粧をさせられた。

小沢 庫裡に上がって、チャチャっとお白粉を塗られて。

天野 鰻屋の信ちゃんなんかきれいにお化粧はやしを昔のとおりで踊つたら、これは面白いよ(笑)

天野 踊つた人はどうのくらいいだしたかね。

森田 たしか、男が二十一名、女が十二名いました。

天野 女もいましたか。

森田 本当に、男ばかりかと思っていたんですけどね。

天野 それで決まって、ここは阿波じやないなら、こっちは南のものにしようという話もありました。

天野 踊つてもらつて、明くる日にはリヤカ

一で洗つていよいよお腰までを回収したら、親会の幹部に「何事か」って怒られた(笑)

天野 それは二年ぐらいたきましたよ。

小沢 踊つてもらつて、明くる日にはリヤカ

一で洗つていよいよお腰までを回収したら、親会の幹部に「何事か」って怒られた(笑)

天野 でも、その時は後でこんなに隆盛になると思わなかつたし、とにかく精一杯やるだけね。

天野 でも、その時は後でこんなに隆盛になると思わなかつたし、とにかく精一杯やるだけね。



第1回ばか踊り・長仙寺での記念写真(男)



大晴の主人・茂木氏



小沢淳男氏



# 高円寺 わが36年おどり

出席者 <発言順>

天野清一郎 高円寺パル(当時商盛会)初代青年部長  
小沢 淳男 高円寺阿波踊振興協会会長  
森田 昇栄 元高円寺パル宣伝部長・葵新連連長  
城石 昇 高円寺阿波踊振興協会副会長  
塚本 忠吉 高円寺阿波踊振興協会副会長  
関 一二三 高円寺阿波踊振興協会副会長  
関根 敏邦 高円寺阿波おどり連協会会長(司会)



日時 昭和61年6月3日

場所 高円寺パル事務所3階

写真左より着席順に、関根敏邦・城石昇・天野清一郎・大石功・大須賀丈夫・杉谷宗彦・関一二三・小沢淳男・塚本忠吉・森田昇栄の各氏(明朝体は編集委員)



して、初めて連が、こちらの商店街と木場連の二連になつてますよね。こんな経過があるたんです。



昭和39年の徳島



川久保氏(左)と神藤氏(右)



左から関根敏邦氏、富沢氏、柴田氏



小畠氏



塚本忠吉氏



▼新高円寺通商店会が参加▶



第10回・桟敷を設ける

また、第六回の時は、中野にあった野村証券が企業連として初めて参加しています。天野 それは商店街として、一般の参加を大いに求める方向にあたのかしら。

小沢 うーん、そろそろそういう機運になつて行つてるんだよ（笑）

森田 それは新高円寺さんが自由参加を始めた時ですね。

城石 それから三十八年には大雨に降られて中止になつたことがあつたね、森田さんが泣いて怒ったヤツ。

森田 あれは後でピタリとやんだように、初めから通り雨だとわかつてましたんですよ。

城石 でも雨足がすごくてね。水が随分出て、森田さんのところなんか、床上浸水していたんじゃない。

関根 踊る方は泣いても泣ききれないよね、ずっと稽古して來たんだし。

城石 でも警察からはどうするんだって矢の催促だし、他にも弁当はどうするとか、ともかく、中止はやむをえなかつたよ。

森田 あれはねえ、踊りのこともあつたんですけど、マスク対策もあつたんですよ。前日の日に来てくれたところもあつたんだけど、その日に取材に来る約束のところもあって。

城石 でも力が余つて、回は違う時だけど中止が決まつても、あとで清水屋さんの二階

関根 踊る話はあつたんですけど、踏み切りがあるから警察に「やめてくれ」と言われてだめだったんですね。

たしか新高円寺さんが参加するときも、距離に関しては新しくは二百メートルぐらいしか延長して踊らせないといふことも出たんですよ。

関根 その頃北口の商店会さんはどうだったんですか。

関根 参加する話はあるんですけど、踏み切りがあるから警察に「やめてくれ」と言われてだめだったんですね。

たしか新高円寺さんが参加するときも、距離に関しては新しくは二百メートルぐらいしか延長して踊らせないといふことも出たんですよ。

塚本 そうそう。

関根 木村さんが新高円寺の理事長の時ですね。草柳さんが随分骨を折つて、小沢さん、塚本さんなんかが、警察とどこまで踊らせるかと話し合つたわけですよね。

小沢 新高円寺の踊るコースなんかは草柳さんにずいぶん苦労していただきました。

城石 それから踏み切りのことと関連するんでした。踏み切りの所が危ないから責任者として私にいてくれって言われて、それで、鉄道公安官から駅員からが総出で警備に当たつたんだけど、もう踏み切りの付近が人で一杯になつちゃいましてね。そんな時、踏み切りから先の場所にある本部の小沢さんから、連を出すなという連絡があつて。

小沢 そんなことがありました。

城石 でも人を止めおくと踏み切りが人であふれちゃう。あの時は怖かったですよ。

高井 警察署長と相談して、すいた時を見計らつてこちらの判断で連を出しました。あ

## 情熱的な踊り



三林 京子

関根 こうした経過があつて、最初の節目の十周年を迎えるわけです。

小沢 桃園川の橋のところ、今のヒグチ薬局のところに丸太を組んで初めて桟敷を作つた。その時に、いしだあゆみと久保浩という当時の人气タレントが踊つた。

関根 小沢さんと集英社に頼みに行つたんでしたね。それで雑誌の明星に載りました。

高円寺阿波踊り三十周年おめでとうござります。実は私も阿波踊りの魅力にとりつかれている一人です。というのも私がNHKドラマ「鳴門秘帳」に出演していた時に、物語が江戸時代の徳島という設定で有り、P.R.で徳島に行き、実際お祭りに参加させてもらつことが出来ました。阿波踊りは、とても情熱的でエネルギーで、私自身

れで事故でも起きようものなら、もう将来は絶望でしたから。

小沢 あの時は本当に怖かった。

城石 北口に関しても、そういうことがあつたから警察が許可しなかつたんですね。

森田 そうでしたね。

関根 これから、初めて外部出演として飯能にてたんだね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 あの時は阿波踊りがそのまま今まで踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく木場連に教えてもらつて阿波おどり「らしく」はなってきたんだけど、熱心な人だけですね。

森田 あとの人はまだか踊りでした。

これじゃいけないと思つて、何とか本場の踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく8ミリでみんな見てみたいと思って行ったんです。

夜九時の急行で立つて、向こうに着いたのが崖の三時半でした。

関根 新幹線が出来る前だもんね。

森田 それで着いたら、もうもう見る物聞く物に驚いてね。駅前は勿論、町角といわず路地といわば、昼間から踊っていますのでね。

「高円寺もこれでなくちゃいけないな」と思いました。十年ぐらい前から高円寺もそんなムードが出てきましたけれども。

それから、夜、演舞場に入れてもらって、もうもう夢中で8ミリなんかを撮りました。

関根 何回も映写会をやりましたよね。

森田 それはもう画面に雨がふるぐらいまで見てもらいました。

城石 あれを見て、みんなだいぶショックを受けたんじゃない。もう恥ずかしくって踊れないやつてね。

小沢 森田さんの8ミリで初めて「これこそ阿波おどりだ」と目を覚まされた。

城石 それで、技量もグッと上がつたね。

森田 そうでしたね。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう一人二人踊つたと思います。みんな旅館の浴衣を着てね。

小沢 それで一番後ろにくつついていたのが踊り方が遅いんで、次の連の先頭になっちゃつて（笑）

小沢 踊ったメンバーを覚えてますか。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう前年の九月から積み立てをしていたんですね。

関根 森田さんが初めて本場の徳島へ一人で訪問に行つたのもこの頃です。

森田 そうですね八回目の時です。数年前から木場連に教えてもらつて阿波おどり「らしく」はなってきたんだけど、熱心な人だけですね。

あとの人はまだか踊りでした。

これじゃいけないと思つて、何とか本場の踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく8ミリでみんな見てみたいと思って行ったんです。

夜九時の急行で立つて、向こうに着いたのが崖の三時半でした。

関根 新幹線が出来る前だもんね。

森田 それで着いたら、もうもう見る物聞く物に驚いてね。駅前は勿論、町角といわず路地といわば、昼間から踊っていますのでね。

「高円寺もこれでなくちゃいけないな」と思いました。十年ぐらい前から高円寺もそんなムードが出てきましたけれども。

それから、夜、演舞場に入れてもらって、もうもう夢中で8ミリなんかを撮りました。

関根 何回も映写会をやりましたよね。

森田 それはもう画面に雨がふるぐらいまで見てもらいました。

城石 あれを見て、みんなだいぶショックを受けたんじゃない。もう恥ずかしくって踊れないやつてね。

小沢 森田さんの8ミリで初めて「これこそ阿波おどりだ」と目を覚まされた。

城石 それで、技量もグッと上がつたね。

森田 そうでしたね。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう前年の九月から積み立てをしていたんですね。

関根 あの時は見学するということで行つたんだけど、向こうに着いたら浮かれちゃつて踊つたのがいましたよね。まあ、それが徳島の演舞場で高円寺の人間が踊つた最初なんですね。

小沢 それで一番後ろにくつついていたのが踊り方が遅いんで、次の連の先頭になっちゃつて（笑）

小沢 踊つたメンバーを覚えてますか。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう前年の九月から積み立てをしていたんですね。

関根 森田さんが初めて本場の徳島へ一人で訪問に行つたのもこの頃です。

森田 そうですね八回目の時です。数年前から木場連に教えてもらつて阿波おどり「らしく」はなってきたんだけど、熱心な人だけですね。

あとの人はまだか踊りでした。

これじゃいけないと思つて、何とか本場の踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく8ミリでみんな見てみたいと思って行ったんです。

夜九時の急行で立つて、向こうに着いたのが崖の三時半でした。

関根 新幹線が出来る前だもんね。

森田 それで着いたら、もうもう見る物聞く物に驚いてね。駅前は勿論、町角といわず路地といわば、昼間から踊っていますのでね。

「高円寺もこれでなくちゃいけないな」と思いました。十年ぐらい前から高円寺もそんなムードが出てきましたけれども。

それから、夜、演舞場に入れてもらって、もうもう夢中で8ミリなんかを撮りました。

関根 何回も映写会をやりましたよね。

森田 それはもう画面に雨がふるぐらいまで見てもらいました。

城石 あれを見て、みんなだいぶショックを受けたんじゃない。もう恥ずかしくって踊れないやつてね。

小沢 森田さんの8ミリで初めて「これこそ阿波おどりだ」と目を覚まされた。

城石 それで、技量もグッと上がつたね。

森田 そうでしたね。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう前年の九月から積み立てをしていたんですね。

関根 森田さんが初めて本場の徳島へ一人で訪問に行つたのもこの頃です。

森田 そうですね八回目の時です。数年前から木場連に教えてもらつて阿波おどり「らしく」はなってきたんだけど、熱心な人だけですね。

あとの人はまだか踊りでした。

これじゃいけないと思つて、何とか本場の踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく8ミリでみんな見てみたいと思って行ったんです。

夜九時の急行で立つて、向こうに着いたのが崖の三時半でした。

関根 新幹線が出来る前だもんね。

森田 それで着いたら、もうもう見る物聞く物に驚いてね。駅前は勿論、町角といわず路地といわば、昼間から踊っていますのでね。

「高円寺もこれでなくちゃいけないな」と思いました。十年ぐらい前から高円寺もそんなムードが出てきましたけれども。

それから、夜、演舞場に入れてもらって、もうもう夢中で8ミリなんかを撮りました。

関根 何回も映写会をやりましたよね。

森田 それはもう画面に雨がふるぐらいまで見てもらいました。

城石 あれを見て、みんなだいぶショックを受けたんじゃない。もう恥ずかしくって踊れないやつてね。

小沢 森田さんの8ミリで初めて「これこそ阿波おどりだ」と目を覚まされた。

城石 それで、技量もグッと上がつたね。

森田 そうでしたね。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう前年の九月から積み立てをしていたんですね。

関根 森田さんが初めて本場の徳島へ一人で訪問に行つたのもこの頃です。

森田 そうですね八回目の時です。数年前から木場連に教えてもらつて阿波おどり「らしく」はなってきたんだけど、熱心な人だけですね。

あとの人はまだか踊りでした。

これじゃいけないと思つて、何とか本場の踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく8ミリでみんな見てみたいと思って行ったんです。

夜九時の急行で立つて、向こうに着いたのが崖の三時半でした。

関根 新幹線が出来る前だもんね。

森田 それで着いたら、もうもう見る物聞く物に驚いてね。駅前は勿論、町角といわず路地といわば、昼間から踊っていますのでね。

「高円寺もこれでなくちゃいけないな」と思いました。十年ぐらい前から高円寺もそんなムードが出てきましたけれども。

それから、夜、演舞場に入れてもらって、もうもう夢中で8ミリなんかを撮りました。

関根 何回も映写会をやりましたよね。

森田 それはもう画面に雨がふるぐらいまで見てもらいました。

城石 あれを見て、みんなだいぶショックを受けたんじゃない。もう恥ずかしくって踊れないやつてね。

小沢 森田さんの8ミリで初めて「これこそ阿波おどりだ」と目を覚まされた。

城石 それで、技量もグッと上がつたね。

森田 そうでしたね。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう前年の九月から積み立てをしていたんですね。

関根 森田さんが初めて本場の徳島へ一人で訪問に行つたのもこの頃です。

森田 そうですね八回目の時です。数年前から木場連に教えてもらつて阿波おどり「らしく」はなってきたんだけど、熱心な人だけですね。

あとの人はまだか踊りでした。

これじゃいけないと思つて、何とか本場の踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく8ミリでみんな見てみたいと思って行ったんです。

夜九時の急行で立つて、向こうに着いたのが崖の三時半でした。

関根 新幹線が出来る前だもんね。

森田 それで着いたら、もうもう見る物聞く物に驚いてね。駅前は勿論、町角といわず路地といわば、昼間から踊っていますのでね。

「高円寺もこれでなくちゃいけないな」と思いました。十年ぐらい前から高円寺もそんなムードが出てきましたけれども。

それから、夜、演舞場に入れてもらって、もうもう夢中で8ミリなんかを撮りました。

関根 何回も映写会をやりましたよね。

森田 それはもう画面に雨がふるぐらいまで見てもらいました。

城石 あれを見て、みんなだいぶショックを受けたんじゃない。もう恥ずかしくって踊れないやつてね。

小沢 森田さんの8ミリで初めて「これこそ阿波おどりだ」と目を覚まされた。

城石 それで、技量もグッと上がつたね。

森田 そうでしたね。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう前年の九月から積み立てをしていたんですね。

関根 森田さんが初めて本場の徳島へ一人で訪問に行つたのもこの頃です。

森田 そうですね八回目の時です。数年前から木場連に教えてもらつて阿波おどり「らしく」はなってきたんだけど、熱心な人だけですね。

あとの人はまだか踊りでした。

これじゃいけないと思つて、何とか本場の踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく8ミリでみんな見てみたいと思って行ったんです。

夜九時の急行で立つて、向こうに着いたのが崖の三時半でした。

関根 新幹線が出来る前だもんね。

森田 それで着いたら、もうもう見る物聞く物に驚いてね。駅前は勿論、町角といわず路地といわば、昼間から踊っていますのでね。

「高円寺もこれでなくちゃいけないな」と思いました。十年ぐらい前から高円寺もそんなムードが出てきましたけれども。

それから、夜、演舞場に入れてもらって、もうもう夢中で8ミリなんかを撮りました。

関根 何回も映写会をやりましたよね。

森田 それはもう画面に雨がふるぐらいまで見てもらいました。

城石 あれを見て、みんなだいぶショックを受けたんじゃない。もう恥ずかしくって踊れないやつてね。

小沢 森田さんの8ミリで初めて「これこそ阿波おどりだ」と目を覚まされた。

城石 それで、技量もグッと上がつたね。

森田 そうでしたね。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

森田 もう前年の九月から積み立てをしていたんですね。

関根 森田さんが初めて本場の徳島へ一人で訪問に行つたのもこの頃です。

森田 そうですね八回目の時です。数年前から木場連に教えてもらつて阿波おどり「らしく」はなってきたんだけど、熱心な人だけですね。

あとの人はまだか踊りでした。

これじゃいけないと思つて、何とか本場の踊りを見てみたいと。それを口伝えじやなく8ミリでみんな見てみたいと思って行ったんです。

夜九時の急行で立つて、向こうに着いたのが崖の三時半でした。

関根 新幹線が出来る前だもんね。

森田 それで着いたら、もうもう見る物聞く物に驚いてね。駅前は勿論、町角といわず路地といわば、昼間から踊っていますのでね。

「高円寺もこれでなくちゃいけないな」と思いました。十年ぐらい前から高円寺もそんなムードが出てきましたけれども。

それから、夜、演舞場に入れてもらって、もうもう夢中で8ミリなんかを撮りました。

関根 何回も映写会をやりましたよね。

森田 それはもう画面に雨がふるぐらいまで見てもらいました。

城石 あれを見て、みんなだいぶショックを受けたんじゃない。もう恥ずかしくって踊れないやつてね。

小沢 森田さんの8ミリで初めて「これこそ阿波おどりだ」と目を覚まされた。

城石 それで、技量もグッと上がつたね。

森田 そうでしたね。

関根 順序が逆になりましたけれども、新高円寺さんは、八回目の三十九年から参加されていますよね。

塚本 その当時は中央線の踏み切りがあって、草柳さんに随分骨を折つていただきましたが、警察が許可しなくてね。二年ぐらい自由参加で鎌倉街道の信号のところまで踊つていたんですよ。そのうち、どうせやるなら我々の町としても本腰を入れてやろうじゃないかって声が高まつてきて、やってみたらよかんべ、

小沢 なるほど。

天野 なるほど。

関根 神藤さん、川久保さん、柴田さん、富沢さん、小畠さんなんか踊つたな。

<p





# 舞台をつくる

高円寺阿波おどり当日の主役は、勿論参加各連の踊り手達である。華かにフツ

トライトを浴びて華麗に踊りまくる。三日間に集まる約百万人の観客のよめきの中で、エネルギーのすべてを燃焼させ、見る人に快い感動を与える。

しかし、主役は踊り手だけではない。踊り手が気持ちよく踊るために、準備段階から終了後まで、さまざまな作業を積み重ねる実行委員会の人々もまた主役なのである。これら「もう一つの主役」にスポットを当ててみたい。

何をするにも先立つものは資金である。どんな立派な計画や、理念を持っていても、資金がなければ絵空事にすぎない。

高円寺阿波踊興協会という組織がある。高円寺一帯の商店会、自治会、企業、有志の個人が会員になっていて、所定の基礎資金は、総経費の三分の一くらいを会費を負担する。これがそつくり実行委員会に寄託されて基礎資金になる。この

度の個人が会員になつて、所定の基礎資金がなければ絵空事にすぎない。

高円寺阿波踊興協会と、運営委員会の位置決め、演舞場の照明等々についての業者との打ち合わせ、工事立ち会い、

そうそう臨時電話の申し込みも忘れてはならない。ポスター、チラシは宣伝部の仕事、マスコミとの対応も大切な業務のひとつ、何しろタダで宣伝してくれるのだから。

参加連が固まつてくると運営委員会の番である。各連の出発位置の決定、コースの確認、各連がまとつかないように各種印刷物の用意と大忙しである。

実行委員会のすべての業務を書き尽すのはむずかしい、細々とした難事が次々出てくる。これらをそれぞれの担当者がが、ひどく雑然とした感じでこなしながら、本番一週間くらい前には大方の作業はまとまつてくる様は、なかなか見事である。関係団体にお集まりいただき必要な事柄をお願いし、諸官庁のチェックも受けれる。

参加全連の説明会が終れば、いよいよ本番を待つばかり、当日のお天気が気にかかる。関係団体でお集まりいただき必要な事柄をお願いし、諸官庁のチェックも受けれる。

さて当日、大忙しは、水川町会、高南自治会、高南二丁目町会、高南二南町会の皆さんだ。とにかく開始三十分前まで演舞場には自動車が走っている。駐車している車もある。完全に交通規制が完了

し、観客席のゴザ敷きがOKになるのは、開始十分前である。各自治会の青年部員が総動員で、ゴザ敷きつめる。ゴザ敷きが終り、お客様が座るのとほとんど同じ時間中は、この人は警備係となり、観客の雜踏整理とトラブル防止に気配。

九時三十分踊り終了とともに、今度はゴザの撤去と道路の清掃に取り掛かる。

「間もなく交通規制が解除されます」、パトカーのスピーカーに急き立てられる。

がら、これまた十五分くらいの間に片付けられる。全くの縁の下の力持ちを勤めることが、自治会の方々に最大級の感謝を贈りたい。

先年、筆者は徳島で反対の状況を目撃した。街中、ゴミと空カン、空ビンが散乱していたのである。メインの商店街の中である。「これでいいのかな」と、高円寺の後始末のよさを再認識した次第。

このように高円寺の阿波おどりは多数の陰の主役によって支えられ、発展していくのである。さらに関係業者の方々も

「地元の為に」と採算を度外視して協力してくれている。

踊り手を役者に例えれば、実行委員会、関係自治会、諸官庁の方々、業者の皆さん、プロデューサーであり、舞台監督であり、大道具さん小道具さん、照明さんなど、演出家であろう。どちらが欠けても舞台は成り立たない。双方が、それぞの立場をわきまえて、協力し合うところに三十年の歴史が生まれたのです。

商店街振興の目的で高円寺ばかり踊り、街の有志により、細々と始められた。当時は南地区の今のバルの狭い場所だけを踊り場としていた。道幅と距離はなく盛り上がりがなかつた。中央線が高架になって、有名な開かずの踏み切りが立体交差になり、南北の町が自由に、交流出来る様になりました。それでも舞台は成り立たない。双方が、それが、街の有志により、細々と始めたものを探している。今から三十年前は、連もドンドン増える。舞台がよくなれば、踊り子もますますハッスルする。

近隣の町会も参加、町ぐるみの大行

事として定着し、今年三十年に当たります。盛大になることと思う。何事も

ア波おどりから東京の一大イベントとなり、ルックの参加等々だんだん

期をして、永い間の区画整理も進歩し、桃園川までが幅員十八メートルの道路が完成した。やがて青梅街道

町全体の催物となりつつあった。道幅と距離はなく盛り上がりがなかつた。中央線が高架になって、有名な開かずの踏み切りが立体交差になり、南北の町が自由に、交流出来る様になりました。それでも舞台は成り立たない。双方が、それが、街の有志により、細々と始めたものを探している。今から三十年前は、連もドンドン増える。舞台がよくなれば、踊り子もますますハッスルする。

近隣の町会も参加、町ぐるみの大行

事として定着し、今年三十年に当たります。盛大になることと思う。何事も

ア波おどりから東京の一大イベントとなり、ルックの参加等々だんだん

期をして、永い間の区画整理も進歩し、桃園川までが幅員十八メートルの道路が完成した。やがて青梅街道

町全体の催物となりつつあった。道幅と距離はなく盛り上がりがなかつた。中央

線が高架になって、有名な開かずの踏み切りが立体交差になり、南北の町が自由に、交流出来る様になりました。それでも舞台は成り立たない。双方が、それが、街の有志により、細々と始めたものを探している。今から三十年前は、連もドンドン増える。舞台がよくなれば、踊り子もますますハッスルする。

近隣の町会も参加、町ぐるみの大行

事として定着し、今年三十年に当たります。盛大になることと思う。何事も

ア波おどりから東京の一大イベントとなり、ルックの参加等々だんだん

期をして、永い間の区画整理も進歩し、桃園川までが幅員十八メートルの道路が完成した。やがて青梅街道

町全体の催物となりつつあった。道幅と距離はなく盛り上がりがなかつた。中央

線が高架になって、有名な開かずの踏み切りが立体交差になり、南北の町が自由に、交流出来る様になりました。それでも舞台は成り立たない。双方が、それが、街の有志により、細々と始めたものを探している。今から三十年前は、連もドンドン増える。舞台がよくなれば、踊り子もますますハッスルする。

近隣の町会も参加、町ぐるみの大行

事として定着し、今年三十年に当たります。盛大になることと思う。何事も

ア波おどりから東京の一大イベントとなり、ルックの参加等々だんだん

期をして、永い間の区画整理も進歩し、桃園川までが幅員十八メートルの道路が完成した。やがて青梅街道

町全体の催物となりつつあった。道幅と距離はなく盛り上がりがなかつた。中央

高円寺阿波踊興協会	
高円寺一帯の自治会、商店会、企業、有志によって組織され、高円寺阿波おどりを主催する団体。おおよその実施計画を策定し、資金調達にも力を發揮する。	初代会長・草柳勝治一現・小沢淳男
高円寺に本部を有し、企業関係を除く振興協会、連協会の役員および加盟店の位置決め、演舞場の照明等々についての業者との打ち合わせ、工事立ち会い、	高円寺阿波踊実行委員会
設定もせにやならぬ。会場係は、サジキ	初代会長・根津政茂
駐車場確保、弁当、飲物の手配、控室の設定もせにやならぬ。会場係は、サジキ	実施計画を策定し、資金調達にも力を發揮する。
スの確認、各連がまとつかないように各連刷り物の用意と大忙しである。	初代会長・中村和男一現・関根敏邦
種印刷物の用意と大忙しである。	諸団体より推薦された実務担当者をもって編成、大会の準備から後始末を実行する組織。
実行委員会のすべての業務を書き尽すのはむずかしい、細々とした難事が次々出てくる。これらをそれぞれの担当者がが、ひどく雑然とした感じでこなしながら、本番一週間くらい前には大方の作業がまとまつてくる様は、なかなか見事である。関係団体にお集まりいただき必要な事柄をお願いし、諸官庁のチェックも受けれる。	今までを実行する組織。
参加連が固まつてくると運営委員の出番である。各連の出発位置の決定、コースの確認、各連がまとつかないように各連刷り物の用意と大忙しである。	
実行委員会のすべての業務を書き尽すのはむずかしい、細々とした難事が次々出てくる。これらをそれぞれの担当者がが、ひどく雑然とした感じでこなしながら、本番一週間くらい前には大方の作業がまとまつてくる様は、なかなか見事である。関係団体にお集まりいただき必要な事柄をお願いし、諸官庁のチェックも受けれる。	
参加連が固まつ	

# 祝 高円寺阿波おどり三十周年

和装着物

むさしや呉服店

中国料理 美華

時計・メガネ・宝石 吉甚時計店

高円寺北口銀座通り 浜寿司

婦人服

337-6069 親爺や名古屋で茶碗焼  
せがれは高円寺で茶碗売り  
安く売つても飯や食える

日光陶器本店 株式会社 高野青果

古書専門 高円寺北口

十五屋 モンブラン

337-2901 ブティック  
337-4205 紳士・婦人靴

337-3224 メガネ・コンタクト FAX 330-3303224  
金子園 ツバメヤ

337-4604 杉並区高円寺前銀座通り  
337-4604 高円寺駅前銀座通り  
337-4604 高円寺駅北口

サガミヤ

337-6088 時計・メガネ・宝石

337-4133 薬・化粧品  
338-0817 ミカド薬局

338-2612 杉並区高円寺北2丁目7番11号  
338-2612 高円寺駅北口

岡本時計店

337-4133 お茶とのり

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

金子園

337-4133 お茶とのり

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

岡本時計店

337-4133 お茶とのり

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

高円寺カメラ ムサシ堂

337-4133 宝石・指環

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

カメラとD・P・E

337-4133 宝石直輸入の店

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

高円寺カメラ ムサシ堂

337-4133 宝石直輸入の店

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

ジョイランド石川

337-4133 宝石直輸入の店

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

パチンコ&スロット

337-4133 宝石直輸入の店

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

ジヨイランド石川

337-4133 宝石直輸入の店

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

高円寺パル

337-4133 宝石直輸入の店

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

メンズショップ

337-4133 宝石直輸入の店

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

小林洋服店

337-4133 宝石直輸入の店

337-4133 和風とんかつ

337-4696 高円寺駅北口中通り商店街

ともだち集まるアーケード



★ユニークな企画★誠実なサービス

高円寺パル

高円寺南商店街振興組合  
TEL 311-7033

いつも身近なおつきあい

高円寺北口銀座

〒166 杉並区高円寺北2丁目7番13号  
TEL (337) 7532 (代)

所属連  
江戸っ子連  
いろは連  
い若駒連  
びっくり連  
杉の子連

祝

# 高円寺阿波おどり三十周年

蒲鉾・さつま揚

愛川屋蒲鉾店

メガネの  
∞サワノ

邦文堂書店

土地、建物、アパート

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-6951

お菓子・パーラー・レストランの店

高円寺パル  
311-2155

伊藤陶器

中華三福

高円寺パル  
311-8395

レディース・ファッショング

漬もの・惣菜

とみざわ

紳士既成服・洋品

日本のかどもの世界のフルーツ

漬もの・惣菜

中華三福

ジーンズ・レディース

フルーツなかむら

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-6665

大黒鯛

たしかな美しさを創る

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8396

東郷堂カメラ

きもの工芸 大黒庵

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8012

ゴローズ・ショップ

うなぎ

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-1470

田中家

高円寺パル  
311-4989

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8012

アイコート

うなぎ

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8012

イヅツヤ

高円寺パル  
311-2857

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8012

江戸前・大阪寿し

高円寺パル  
311-4487

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8012

大黒鯛

高円寺パル  
311-3355

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8012

ナカイヤ

高円寺パル  
311-4484

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8012

ゴローズ・ショップ

高円寺パル  
311-5600

陶磁器・ガラス器・園芸用品

高円寺パル  
311-8012

田中家

高円寺パル  
311-4989

祝

# 高円寺阿波おどり三十周年

大石書店

高円寺パル  
311-618

大石書店

高円寺パル  
311-2461

古書誠実売買

高円寺パル  
311-298

大石書店

高円寺パル  
311-2461

椅子製造及張替

高円寺パル  
311-707

大石書店

高円寺パル  
311-707

セ・ビ・ロのチャンピオン

高円寺パル  
311-707

大石書店

高円寺パル  
311-707

(有)市川テーラー

高円寺パル  
311-707

(有)市川テーラー

高円寺パル  
311-707

良品廉価

高円寺パル  
311-4570

良品廉価

高円寺パル  
311-4570

肉の大丸畜産

高円寺パル  
311-2097

肉の大丸畜産

高円寺パル  
311-2097

セ・ビ・ロのチャンピオン

高円寺パル  
311-707

セ・ビ・ロのチャンピオン

高円寺パル  
311-707

高円寺そば

高円寺パル  
311-4570

高円寺そば

高円寺パル  
311-4570

スープ茶屋

高円寺パル  
311-4570

スープ茶屋

高円寺パル  
311-4570

高円寺そば

高円寺パル  
311-4570

高円寺そば

高円寺パル  
311-4570

ア イ コ ー 堂

高円寺パル  
311-8012

ア イ コ ー 堂

高円寺パル  
311-8012

男のトータルファッショ

高円寺パル  
311-1470

男のトータルファッショ

高円寺パル  
311-1470

倉 宮田家具店

高円寺パル  
311-8012

倉 宮田家具店

高円寺パル  
311-8012

とみざわ

高円寺パル  
311-6665

とみざわ

高円寺パル  
311-6665

中華三福

高円寺パル  
311-8012

**夢いっぱい JB'S スタンプ**

新高円寺通商店街振興組合  
杉並区高円寺南3-36-15 電話 315-0039

西友 高円寺店

衣料品から食品まで  
西友の無印良品

西友新聞販売所

下田米穀株式会社

斎藤啓治

中国料理味楽

魚 藤

天ぷら

印堂第一 制作 東京都杉並区和田二丁目一四六番地二号  
電話二二二二

# 祝 高円寺阿波おどり三十周年

富士銀行  
高円寺支店

第一勧業銀行  
高円寺支店

杉並区高円寺北2-3-45-723-14

城南信用金庫  
高円寺支店

三井銀行  
高円寺支店

杉並区高円寺北2-3-241-1121

協和銀行  
高円寺支店

八千代信用金庫  
高円寺支店

杉並区高円寺北2-2-6-110-4

三菱銀行  
高円寺支店

太陽神戸銀行  
高円寺支店

杉並区高円寺南4-8-327-301-6

平和相互銀行  
高円寺支店

国分寺連  
高円寺支店

杉並区高円寺北2-2-6-110-4

協和銀行  
高円寺支店

太陽神戸銀行  
高円寺支店

杉並区高円寺北2-2-6-110-4

かすや蕊  
高橋一郎

小川藤吉郎  
青山トオル

杉並区松ノ木3-5-9-7

衆議院議員  
前衆議院議員

東京都議会議員  
杉並区議会議長

杉並区本町4-5-3-48-002-17

高橋哲太郎  
藤原正

吉田武  
島崎せつじ

杉並区南荻窪4-3-2-8-30-4

仁木清二郎  
宮原良人

杉並区梅里4-5-2-11-16

杉並区阿佐ヶ谷南5-8-31-6-12

東京都議会議員  
財務主税委員長

393-1-5-8-31-6-12

新しい高円寺の  
東京カローラです。

取扱商品  
★カムリ、スープラ、セリカ、カローラ、カローラG、カローラバン、タウンエース  
★車検、その他整備、各種損害保険  
**トヨタ東京カローラ**  
高円寺営業所 310-6111  
高円寺北2-14-26

三鷹阿波踊り実行委員会  
委員長 佐藤徳三郎

三鷹中央通り商店会

会長 島野 清

三鷹駅前銀座商店会

会長 吉田 武

三鷹駅前銀座商店会

会長 島野 清

三鷹駅前銀座商店会

会長 吉田 武

祝

高円寺阿波おどり三十周年

## 糺谷商店街振興組合

理事長 斎藤宗松

東京都大田区萩中2丁目8番13号 電話 03-742-2512

祝 第30回高円寺阿波おどり

## 高円寺阿波おどり連協会

若駒連	みどり連	ひよつとこ連	みどり連	花菱連	天狗連	新若連	写樂連	志留波阿連	江戸つ子連	菊水連	飛鳥連	葵新連
-----	------	--------	------	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-----	-----	-----

# 思い出の アルバム



# ポスター類今昔



映画館スライド映写広告・第5回(昭和36年)



チラシ・第9回(昭和40年)



▲「アワオドリ展」チラシ・第8回(昭和39年)



チラシ・第7回(昭和38年)



▲第16回(昭和47年)

## 本格的ポスター

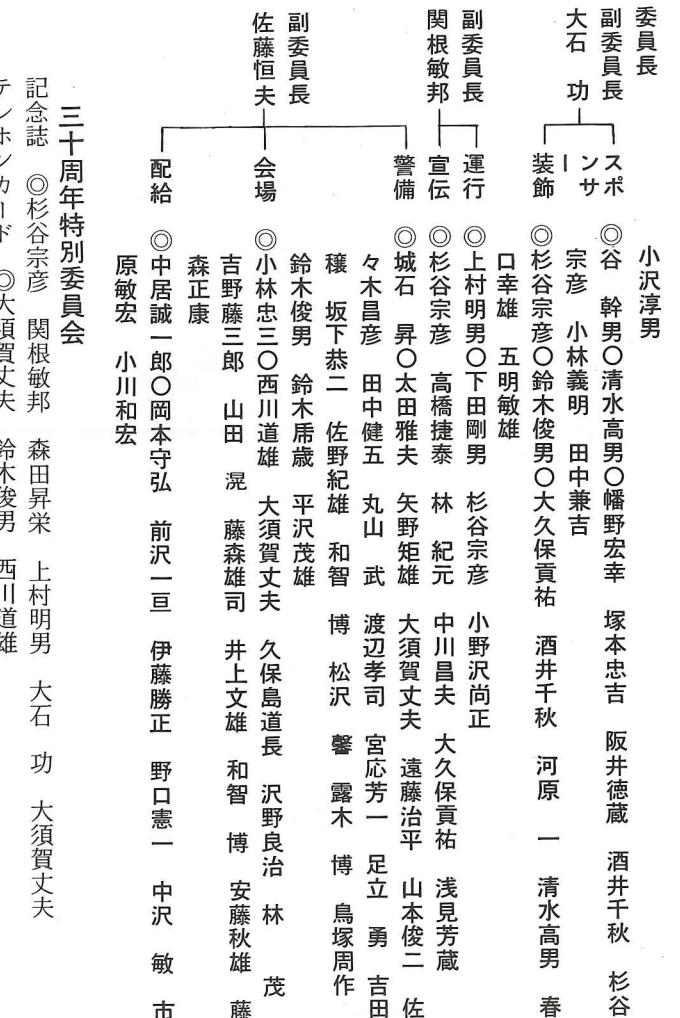
15周年を機に、長年の念願であつた国電車内吊り広告を敢行。それまでの手書きポスター、手書き看板、新聞チラシなどでは得られない大きな宣伝効果があつた。



▲第15回(昭和46年)

この年から毎年ポスターを製作。以降、縦長はB1判、横長はB3判のもの。

写真・資料提供(敬称略)  
計良武夫、金子詔一、小泉正子、杉原英男、  
および大会役員・編集委員、他の方々



## 高円寺阿波踊実行委員会編成表

名誉会長	草柳勝治
会務委員長	塙本忠吉(財務)
総務	南波奎二(財務)
北銀座	城石昇(警備)
パルック	小畠肇(消防・清掃・会場)
責任者	関根敏邦(報道・連協)
藤原行正(涉外)	豊田玉一(朝日)
鳥居利雄(涉外)	城石昇(警備)
責任者	小畠肇
鳥居利雄	関根敏邦(報道・連協)
責任者	岡本守弘
北銀座	岡本守弘
パルック	小畠肇
責任者	鳥居利雄
桃園演舞場	小澤淳男
中央演舞場	小林義明
責任者	田中兼吉
南演舞場	田中健五
副責任者	吉野勝三郎
責任者	坂本忠吉
副責任者	吉野勝三郎・森元正一・小針次郎
北演舞場	坂本忠吉
責任者	阪井徳藏
副責任者	山岸正
桃園演舞場	齊藤信雄
中央演舞場	渡辺容事・川上和治・田村莊輔
北演舞場	大須賀丈夫
責任者	坂本忠吉
副責任者	阪井徳藏
責任者	山岸正

## 三十周年記念阿波踊り大会役員分担表

北演舞場	大須賀丈夫
責任者	坂本忠吉
副責任者	阪井徳藏
責任者	山岸正
桃園演舞場	齊藤信雄
中央演舞場	渡辺容事・川上和治・田村莊輔
北演舞場	大須賀丈夫
責任者	坂本忠吉
副責任者	阪井徳藏
責任者	山岸正

何とか三十年記念誌をまとめる事ができた。関係の各方面から色々な資料、記事、情報の御提供をいただき深く感謝申し上げる。しかし初めての試みと慣れぬ作業ゆえに、もれが生じたり内容に不備な点が多くある事は承知の上の発行である。いたらぬ点はすべて編集委員の責任でありお許しいただきたい。今後高円寺阿波踊りが、四十年、五十年と歴史を重ねる折に補なっていただければ幸いである。

### 編集後記

編集委員	上村 明男	杉谷 宗彦
	森田 昇栄	関根 敏邦
	大石 功	大須賀丈夫

## 高円寺阿波踊三十周年記念誌 —どよめきの三十年—おどれ高円寺

昭和61年8月1日 頒価1,000円  
発行 高円寺阿波踊振興協会 パル商店会内  
☎03(312)2728 〒166 東京都杉並区高円寺南3-57-10  
製作 みづほ企業株式会社  
☎03(893)6990 〒114 東京都北区東田端2-4-4



▲第24回（昭和55年）



▲第23回（昭和54年）



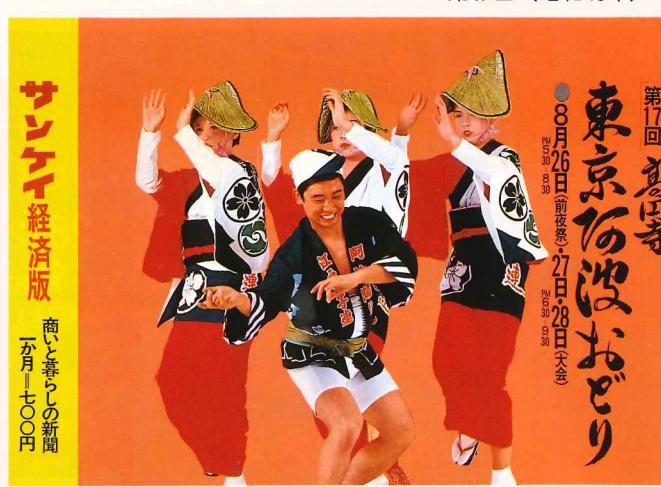
▲第26回（昭和57年）



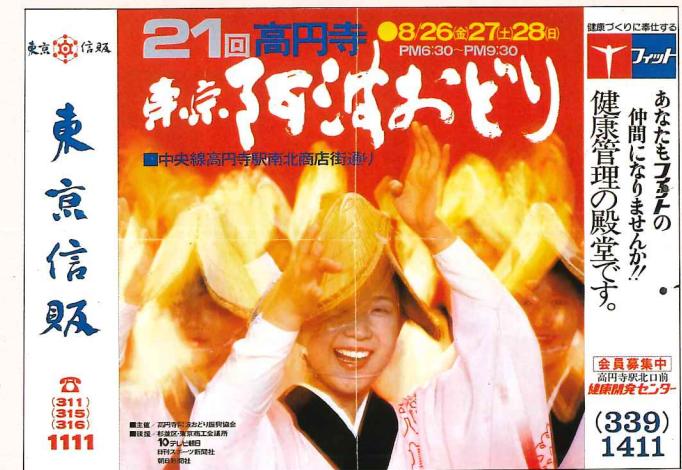
▲第25回（昭和56年）



▼第18回（昭和49年）



▼第17回（昭和48年）



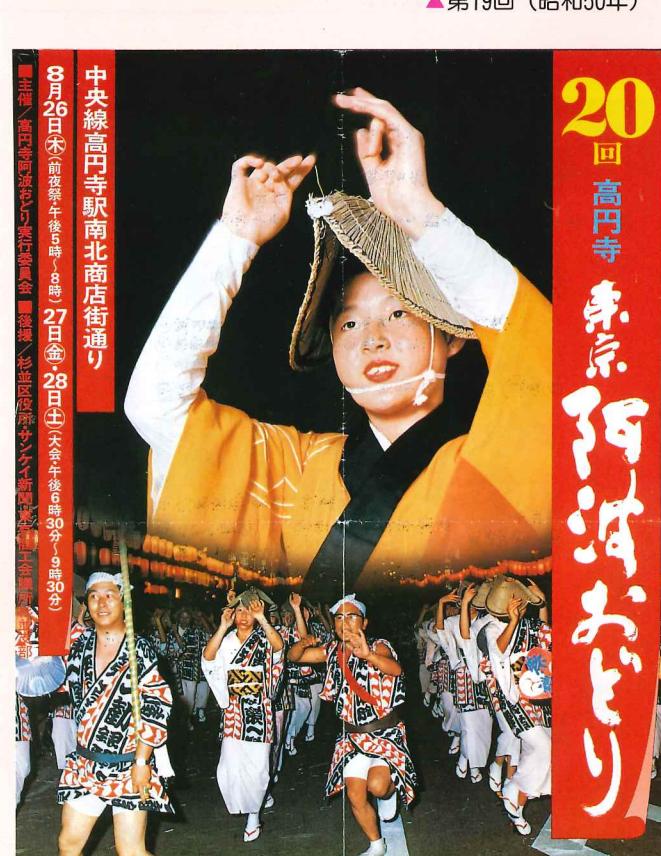
▲第21回（昭和52年）



▲第19回（昭和50年）



▲第22回（昭和53年）



結婚式場・貸席  
根津会館



▲第20回（昭和51年）



人・街・コミュニケーション

19

19日は『トークの日』

ほんとうは、毎日が『トークの日』なのですが。

みんなでコミュニケーションを考える日、それが『トークの日』。といつても、けっておおげさなことではありません。わたしたちのまわりにいる人たちや、住んでいる街、そして未来にもっともっと目をむけ、お互いがふれあい、コミュニケーションを深めていく、そんなきっかけの一日にしたいと思うのです。

おかげさまで2年目  
電話局は  
みなさまとのふれあいを  
大切にします。

NTT高円寺電話局  
NTT杉並電話局

## 伝統と芸術の菓子

### ◎東京の代表銘菓（東京・上野駅キオスク売店）

- ・東京しうびあん（つぶあん入り）

### ◎高級ご進物（和洋菓子の数々）

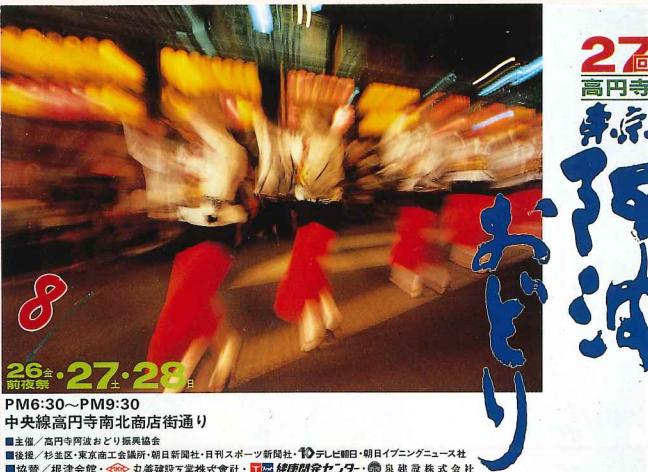
- ・一楽庵 ・静雅心 ・花しづり
- ・バウムクーヘン ・マロンデセール
- ・長崎カステラ ・チョコレートケーキ その他



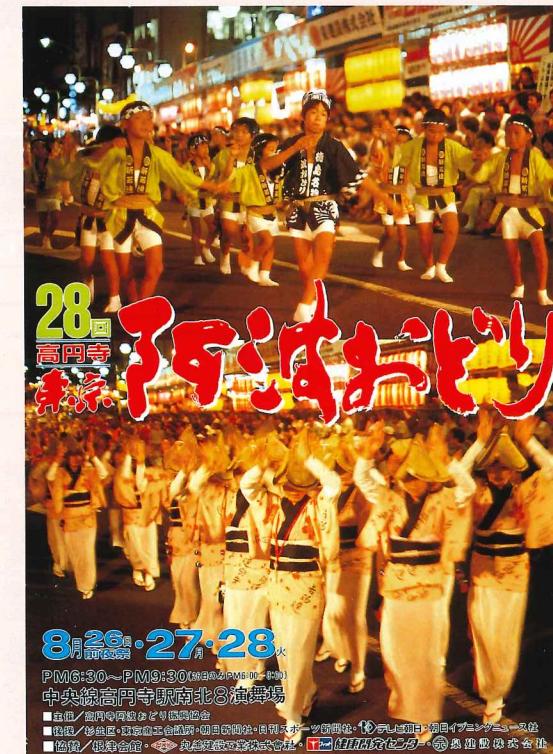
株式会社

**つるた屋**

本 社 東京都中野区大和町4-11-13 TEL 03(339)5191  
 東京工場 東京都中野区大和町4-10-13  
 栃木工場 栃木県安蘇郡田沼町大字山形645-1 TEL 0283(65)1211  
 大阪営業所 大阪府豊中市柴原町1-4-3 TEL 06(853)6507



▲第27回（昭和58年）▶



◀第28回（昭和59年）▶



▼第29回（昭和60年）▶

